

REGZA

4K液晶テレビ

形名 43A250K/50A250K/55A250K

機能操作編



「付属品を確認する」、
「テレビを設置する」、
などの準備は製品に同梱の
取扱説明書をご覧ください。

テレビを見る

録画機器を使う

接続機器を使う


インターネット
に接続する

調整・設定をする

さまざまな情報

困ったときには

使用上のお願いと
ご注意

- ：必ず最初に製品同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」をご覧ください。
- ：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、
「困ったときには」をご覧ください。 

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

もくじ

リモコンのおもな機能	5
------------	---

テレビを見る

テレビを操作する	6
リモコンで番組を選ぶ	6
音量を調節する／音を一時的に消す／ 字幕を表示させる	7
本体ボタンによる「機能切替」について	7
操作ガイドについて	8
サブメニューについて	9
番組情報や番組説明を見る	10
番組情報を見る	10
番組説明を見る	10
番組表で番組を探す	11
番組表を使う	11
番組表を便利に使う	12
条件を絞りこんで番組を探す	15

データ放送やラジオ放送を楽しむ	17
連動データ放送を楽しむ	17
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	17
便利な機能を使う	18
画面サイズを切り換える	18
降雨対応放送について	18
他の映像・音声を切り換える	18
映像を静止させる	19
省エネ設定をする	19
ヘッドホンで聴く	20
外部スピーカーで聴く	20
時計を表示する	20
自動で電源が入るようにする	21
自動で電源が切れるようにする	21

録画機器を使う

録画機器の準備をする 42

録画・予約機能について	22
録画できる機器と番組	22
接続・設定と録画前の準備	22
USBハードディスクの設定をする	23
USBハードディスクの設定をする	23
録画の基本的な設定をする	24
録画に使用する機器を設定する	24
チャプター分割のしかたを設定する	24

録画・予約をする 25

見ている番組を録画する	25
番組表で予約をする	26
メッセージが表示された場合	26
マルチ表示の番組表で予約するとき	26
連続ドラマを予約する	27
日時を指定して予約をする	
／番組を検索して録画・予約をする	28
日時を指定して予約をする	28
番組を検索して録画・予約をする	28
録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき	29
予約の確認・変更・取り消しをする	30
予約・録画の優先順位と予約の動作について	31
予約・録画の優先順位について	31
予約の動作について	31

再生する 32

録画した番組を再生する	32
再生の基本操作とさまざまな再生のしかた	32
録画番組の再生中にできるリモコン操作	33
録画番組の情報や番組説明を見る	34
録画番組を修復する	34
見たい録画番組を探して再生する	35
録画リストのさまざまな機能を使う	36
繰り返し再生の設定を変える	36
番組を並べ替える	36
ほかの機器を選択する	36
連ドラ予約をする	36
機器の情報を確認する	36

不要な録画番組を消す ／誤って消さないように保護する 37

不要な録画番組を消す	
／誤って消さないように保護する	37
一つの録画番組を消す	37
複数の録画番組を消す	37
グループ内の録画番組をすべて消す	37
自動的に消す(自動削除設定)	37
誤って消さないように保護する	37

編集・ダビングする 38

チャプター編集をする	38
録画済番組の再生中に編集する	38
グループ名を変更する	38
ほかのグループに移動する	39
録画番組をダビング(ムーブ)する	40
USBハードディスク間でムーブする	40

接続機器を使う

外部入力の画面に切り換える	41
外部入力の機能を設定する	42
入力切替時に画面に表示される機器名を設定する	42
使用しない外部入力をスキップする	42
HDMIモードを変更する	42
自動で低遅延モードを切り換える設定にする	43
Dolby Digital Plusの入力を設定する	43
HDMI入力のRGBレンジを設定する	43
ビデオ入力の音声入力を設定する	43
HDMI連動機能について	44
HDMI連動機能でできること	44
HDMI連動機能について	45
本機のリモコンでHDMI連動機器を 操作するための設定をする	46
本機のリモコンで対応機器を操作する	47
本機のリモコンでできるおまな操作	47
オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く	48
オーディオ機器のスピーカーで聴く	48

USB機器を接続する	49
機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする	49
動画を再生する	50
動画再生の操作	50
動画再生時にできるリモコン操作	51
動画の再生方法を設定する	51
時間を指定して再生する(タイムサーチ)	51
動画を並べ替える	51
機器を選び直す	51
動画再生リストの操作ガイドについて	51
写真を再生する	52
写真再生の操作	52
マルチ表示画面の表示モードを切り換える	53
再生を繰り返す	53
スライドショーの表示間隔の設定をする	53
マルチ表示画面の写真の並び順を変える	53
機器を選び直す	54

インターネットに接続する

インターネットに接続する	55
インターネットを利用するための設定をする	55
アドレス設定(IPv4)	55
IPv6接続	56

アドレス設定(IPv6)	56
ネットワーク情報	56
接続テスト	56
ネットワーク設定の接続テスト結果について	57

調整・設定をする

映像を調整する	58
お好みの映像メニューを選ぶ	58
お好みの映像に調整する	58
黒レベル	59
色の濃さ	59
色あい	59
精細感・ノイズ調整	59
コントラスト感調整	59
色詳細調整	60
その他の映像設定	60
映像調整を初期値に戻す	60

音声を調整する	61
お好みの音声メニューを選ぶ	61
お好みの音声に調整する	61
低音強調	61
イコライザー	61
サラウンド	62
オートボリューム	62
左右バランス	62
ドルビー DRC	62
音声出力詳細設定	62

その他の設定をする	64
アンテナを調整する	64
電波の強さ(信号強度)を確認する	64
アンテナを調整する	65
地上デジタルアッテネーター設定を変更する	65
BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する	65
アンテナ線がショートしたとき	65
チャンネルを追加したり 設定を変更したりするとき	66
地上デジタルチャンネルを自動で設定する	66
チャンネルをお好みに手動で設定する	67
視聴しないチャンネルをスキップする	68
データ放送の設定をする	69
地域と郵便番号を設定する	69
災害発生時に文字情報を表示させる	69
ルート証明書の番号を確認する	69
視聴できる番組を制限する	70
制限するために暗証番号を設定する	70
番組の視聴を制限する	70
リモコンの設定を変更する	71
使わない放送選択ボタンの操作を無効にする	71
お買い上げ時の設定に戻すには (設定内容を初期化するには)	72
設定メニュー一覧	73

もくじ っつき

さまざまな情報

ソフトウェアを更新する	75	画面サイズについて	79
ソフトウェアの更新機能について	75	対応フォーマット	81
ソフトウェアの自動ダウンロードについて	75	本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット	81
東芝サーバーから手動でダウンロードする	76	本機で再生できる動画のフォーマット	81
ソフトウェアのバージョンを確認するには	76	本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット	81
文字を入力する	77		
アイコン一覧	78		
番組についてのアイコン	78		
お知らせ、予約、その他についてのアイコン	78		

困ったときには







症状に合わせて解決法を調べる	82	エラーメッセージが表示されたとき	90
操作	82	全般	90
映像	82	USBハードディスクに関するエラー表示	91
音声	83	LAN端子を使った通信に関するエラー表示	92
地上デジタル放送	83	BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示	92
BS・110度CSデジタル放送	84		
番組表	85		
お知らせアイコン  が何度も表示される	85		
録画・再生	86		
HDMI連動機能	87		
ネットワークが使用できない	87		


使用上のお願いとご注意

使用上のお願いとご注意	93
取り扱いについて	93
電源プラグをコンセントから抜く際のご注意	93
録画・録音について	93
4K映像の表示について	93
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき	94
免責事項について	94
お手入れについて	95
お手入れの際のご注意	95
キャビネットと画面のお手入れ	95

さくいん	96
保証とアフターサービス	99


この取扱説明書内のマークの見かた


 お知らせ	機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。	 お願い	取扱上のお願いを記載しています。
 用語	用語の説明をしています(分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります)。	 ご注意	取扱上のご注意を記載しています。
 ページ	関連する内容が記載されているページの番号を示しています。		製品に同梱している取扱説明書の記載ページを示しています。




 **お知らせ** ● この取扱説明書は、43A250K / 50A250K / 55A250Kで共用です。
記載しているイラストは55A250Kのもので、本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。


リモコンのおもな機能



各ボタンの機能






- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです(ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります)。
- 詳しくは  内のページをご覧ください(代表的なページを示しています)。



- 外部入力機器の画面に切り換える…………… **41** 
- 電源を入れる/待機にする

- 字幕の表示/非表示を切り換える…………… **7** 
- BS・110度CSの4K放送を楽しむ…………… **6** 
- 番組名や放送局名、放送時間などを見る… **10** 










- 放送の種類を切り換える…………… **6** 

- チャンネルを選ぶ…………… **6** 
- 文字を入力する…………… **77** 

- チャンネルを順番に選ぶ…………… **6** 
- データ放送を見る…………… **6** 
- 音を消す…………… **17** 
- サブメニューを使う…………… **9** 
- 音量を調節する…………… **7** 

- 録画リストを表示させる…………… **32** 
- 番組表で番組を選ぶ…………… **11** 
- メニューから選ぶ、決定する
- メニュー操作で一つ前の画面に戻る
- 操作を終了する

- カラーボタン……………多様な用途があります

- 再生、早見早聞再生をする…………… **33** 
- 早送り、早戻しをする…………… **33** 
- チャプタースキップをする…………… **33** 
- 録画や再生を停止させる…………… **33** 
- 再生を一時停止させる…………… **33** 
- 映像を静止させる…………… **19** 
- 番組表などでページを切り換える
- 設定メニューを表示させる
- 音声を切り換える…………… **18** 
- ワンタッチリプレイ(10秒戻す)…………… **33** 
- ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)…………… **33** 



テレビを操作する

リモコンで番組を選ぶ



1 地デジ、BS、CS、BS/CS、4K、で放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

- 以下の3とおりの選局方法があります。

※ BS・110度CSの4K放送を録画中は、BS・110度CSの4K放送は録画中のチャンネル以外は選べません。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン **1**～**12** で選局します(下の「お知らせ」をご覧ください)。
- BSデジタル放送・110度CSデジタル放送・BS・110度CSの4K放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。
 - ・ 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

グループを指定して選局する

- 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。
- 選局ガイド表示中に同じ種類の放送切換ボタンを繰り返し押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。
- **1**～**12** ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネル▲・▼ボタンで選局する(順次選局)

- **飛利** でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

- **サブメニュー** で「チャンネル番号入力」を選び、**1**～**10** でチャンネル番号を入力して選局できます。
- チャンネル番号は番組表で確認できます。

枝番のついた放送一覧が表示されたとき

- ▲・▼で選んで **決定** を押すか、**10**～**9** で枝番を指定して選びます。



- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表 **11** で確認することができます。
- **1**～**12** でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです(「チャンネルをお好みに手動で設定する」で変更できます)。
 - **地デジ** を押したとき→「はじめての設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - **BS**、**BS/CS**、**4K** を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
 - **CS** を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(**1**と**2**だけ)。
 - ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

- ① リモコンの  を押す

音を一時的に消す

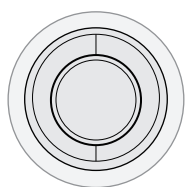
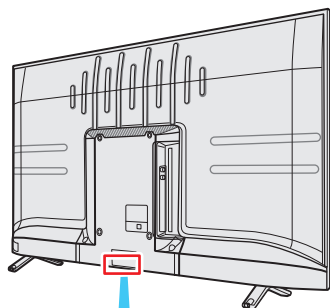
- ① リモコンの  を押す
 - 画面右下に  が表示されます。もう一度  を押すと音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

- ①  を押す

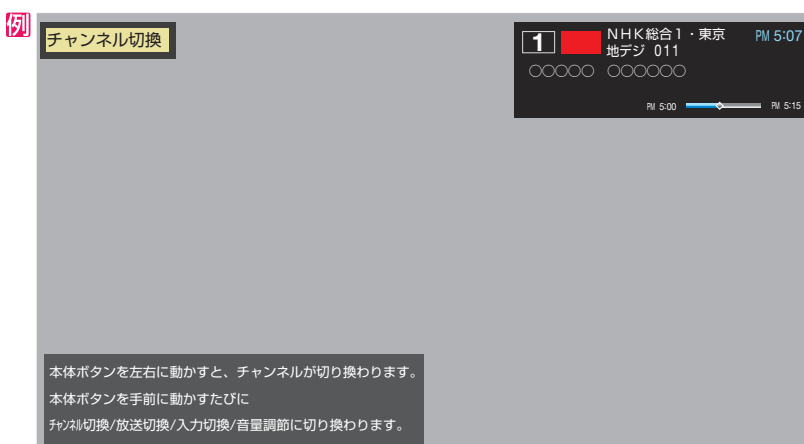
本体ボタンによる「機能切換」について

- 本体ボタンを左右に動かすと通常「音量調節」(上記)を行います。手前に動かすたびに機能が切り換わります。



1 本体ボタンを手前に動かす

- 本体ボタンを手前に動かすと、画面左上に現在選択している機能が表示されます。希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順2の操作をします。




- 本体ボタンを手前に動かしたあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 本体ボタンを繰り返し手前に動かして機能を選び、左右に動かして切り換えまたは調節をする

- 本体ボタンを手前に動かすたびに以下のように機能が切り換わります。

→ **チャンネル切換** → **放送切換** → **入力切換** → **表示なし(音量調節)**

- **チャンネル切換** …… チャンネルが順次に切り換わります。
- **放送切換** …… 「地デジ」、「BS」、「CS」、「BS/CS 4K」が順次に切り換わります。
- **入力切換** …… 入力が順次に切り換わります。 

テレビを操作する つづき

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)やサブメニューに割り当てられています。

例 録画リスト



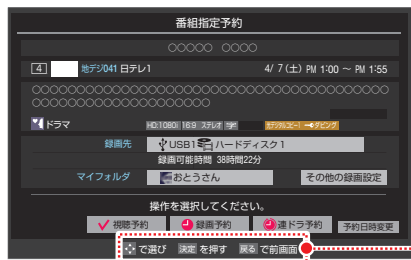
サブメニューの表示
サブメニューがあることを示します。

例 番組表



青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

例 操作画面



◀ ▶ の表示
ページやリストの切り換えができることを示します。

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。



サブメニューについて

- **サブメニュー** を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、**サブメニュー** を押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

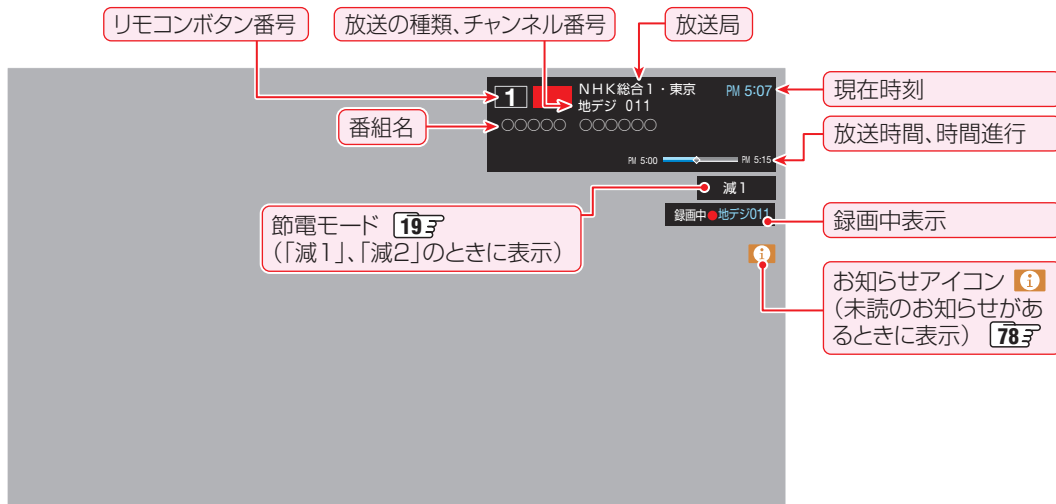
サブメニュー	機能 (一部省略しています)	詳細記載ページ
番組説明	視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。	10
録画	録画ができます。	25
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。	27
予約リスト	予約リストを表示します。	30
メディアプレーヤー	動画、写真を再生するメディアプレーヤーを起動します。	50
時計	時計表示やオンタイマー／オフタイマーの設定ができます。	20
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	7
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	18
スピーカー切換	本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。	20
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。	6
その他の操作		
その他の操作		
信号切換		
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。	64
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	17
テレビ/ラジオ/外部切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	17
親切ヘッドホン音量	親切モードでのヘッドホンの音量を調節することができます。	20
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。	同梱 29
本機の情報	本機のソフトウェアバージョンを確認します。	76
信号切換		
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	18
音声信号切換	一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り換えられます。	18
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	18
降雨対応放送切換	豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	18

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます(チャンネル以外の表示は数秒後に消えます)。
- 表示を消すには、もう一度画面表示を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



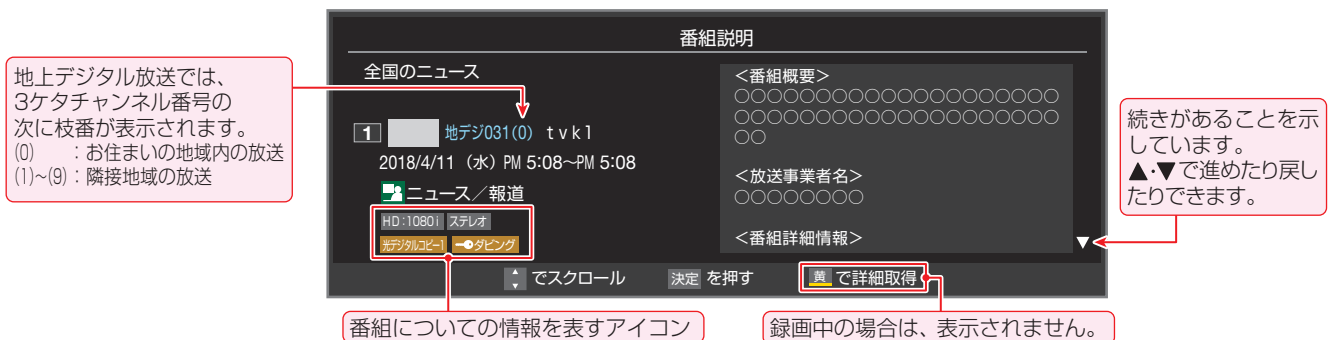
番組説明を見る

1 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「番組説明」を選ぶ

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄を押します。
 - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
 - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン(ステレオ、HD:1080iなどの記号)についての説明は、「アイコン一覧」[78ㄱ]をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「****」)で表示されます。

1 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」**[12]**をご覧ください)。
- 放送の種類を変えるときは、**地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS**、**4K**を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切替」**[14]**で選びます。
- 番組表を消すときは、**終了**を押します。

2 ▲・▼・◀・▶で番組を選ぶ

- 選んだ番組の番組説明を見るには、**サブメニュー**を押し、**▲・▼**で「番組説明」を選び**決定**を押します。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには**◀▶**または**◀▶**を押します。

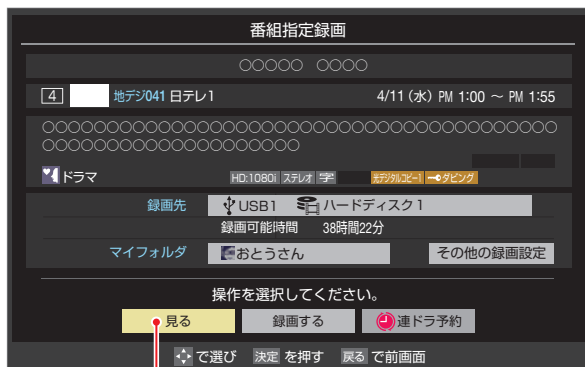
3 決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。**[26]**の手順3をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、**決定**を押し、**1**～**10**(**0**)で暗証番号を入力します。

4 現在放送中の番組を見るときは、

▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、**決定**を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



「見る」を選びます。

- 番組指定録画面からは、録画**[25]**、連ドラ予約**[27]**の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、視聴予約**[26]**、録画予約**[26]**、連ドラ予約**[27]**の設定ができます。

【通常番組表画面：7チャンネル表示の例】

お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」**[12]**の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」**[68]**で、スキップ「する」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの「テレビ/ラジオ/データ切替」**[14]**で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

番組表で番組を探す つづき

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」**[70]**をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」**[14]**をご覧ください。

番組表を便利に使う

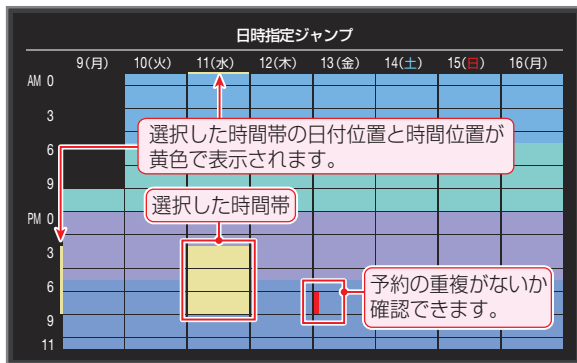
- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表が表示されているときに以下の操作をします。

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 **青** (日時切換) を押す

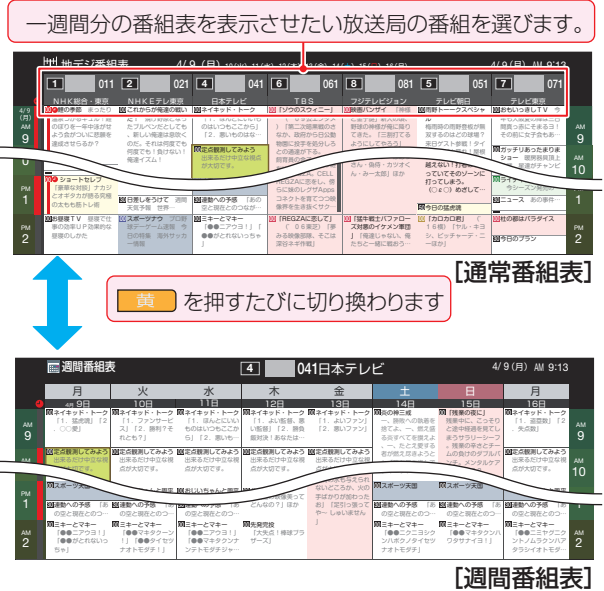
2 **▲・▼・◀・▶** で日時を選び、**決定** を押す



週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 **◀▶** で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、**黄** (週間番組表) を押す



- 操作方法は、前ページの通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」**[13]**に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 **サブメニュー** を押し、**▲・▼** と **決定** で「番組説明」を選ぶ

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「番組情報の取得」を選んで **決定** を押す

番組情報の取得中に表示されます。



- ※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。
- ※ 録画中は、番組情報の取得ができません。



● 番組表の操作ガイドに表示される **緑** (番組検索) については、「条件を絞りで番組を探す」**[15]**をご覧ください。

テレビを見る

- ◆ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます(更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります)。
 - BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
 - 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
 - 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
 - BS・110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に「サブメニュー」を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、「サブメニュー」を押し

2 ▲・▼で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、「決定」を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。



- 「マルチ表示」での番組予約については、**26**をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 **赤** を押し文字の大きさを切り換える

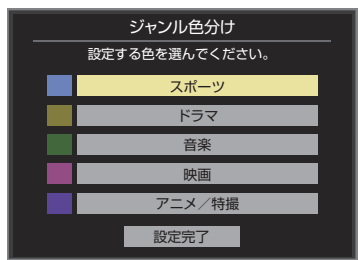
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

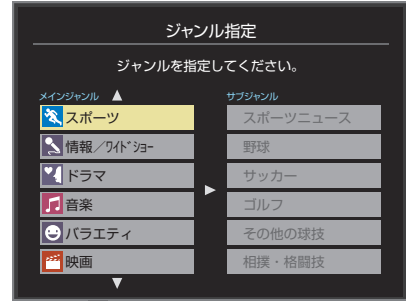
1 「サブメニュー」を押し、▲・▼で「ジャンル色分け」を選んで「決定」を押す

2 設定する色を▲・▼で選び、「決定」を押す



3 ▲・▼・◀・▶でジャンルを選び、「決定」を押す

- 「決定」を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。



4 ▲・▼で「設定完了」を選び、「決定」を押す

用語 (放送)ネットワーク
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

番組表で番組を探す つづき

番組記号の説明を見る

- 画、国、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組記号一覧」を選んで**決定**を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、**決定**を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数」の順に進む

2 ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、**決定**を押す

チャンネルの並び順を設定する

- 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「番組表表示設定」⇒「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、**決定**を押す

- 通常……………放送局推奨の並び順になります。
- チャンネルボタン優先…ワンタッチ選局ボタン
1～12の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

- 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「番組表表示設定」⇒「番組概要表示」の順に進む

2 ▲・▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、**決定**を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

- 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「番組表表示設定」⇒「地デジ表示」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、**決定**を押す

- 視聴チャンネル中央表示…視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示…お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切替」を選んで**決定**を押す

2 ▲・▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで**決定**を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選んで**決定**を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- ※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 1～10⁽⁰⁾で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。



放送メディア

デジタル放送の媒体(テレビ放送、データ放送、ラジオ放送)をさします。

条件を絞りこんで番組を探す

- 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

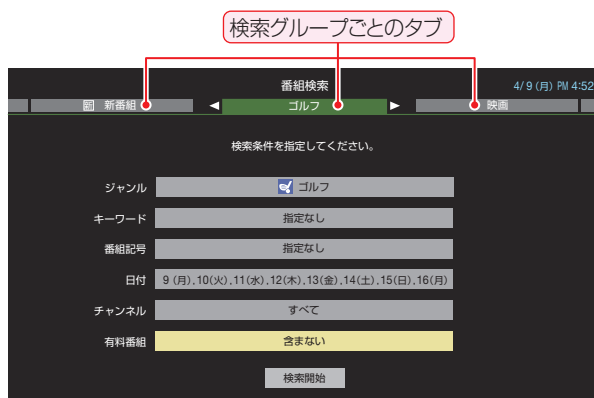
1 **番組表**を押して、番組表を表示させる

2 **緑** (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

- 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。

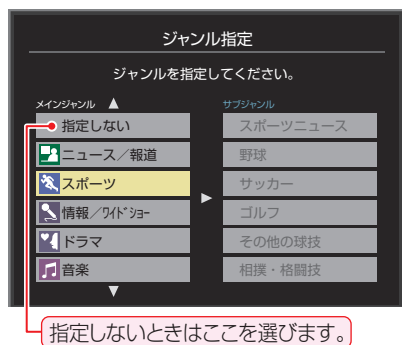


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

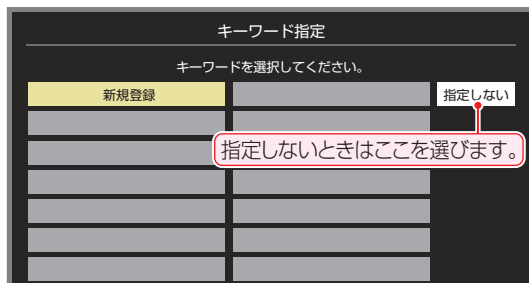
「ジャンル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
- 2 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す



「キーワード」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「キーワード」を選び、決定を押す
 - 2 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- お買い上げ時は登録されていません。



新しいキーワードを登録する場合

- 1 ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、決定を押す
- 文字入力画面が表示されます。
- 2 キーワードを入力して、決定を押す
- 文字入力の方法は、**777**をご覧ください。
 - キーワードは14個まで登録できます。

キーワードを編集する場合

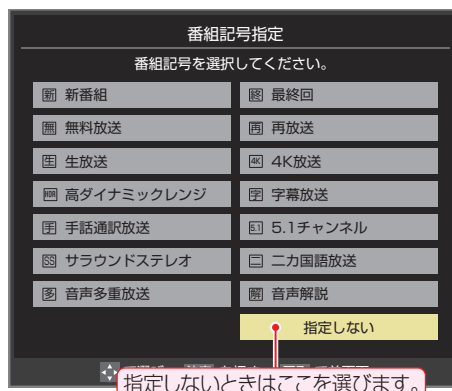
- 1 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、青を押す
- 2 キーワードを編集し、決定を押す

キーワードを削除する場合

- 1 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、赤を押す
- 2 ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

「番組記号」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「番組記号」を選び、決定を押す
- 2 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す



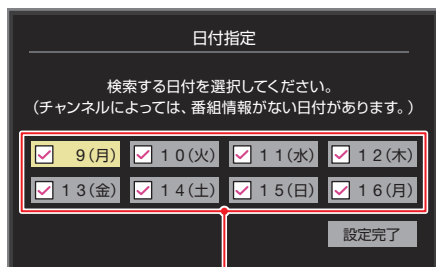
お知らせ

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 「チャンネルスキップ設定」**68**で、スキップ「する」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

条件を絞りこんで番組を探す つづき

「日付」を指定するとき

- ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す
- 指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
 - 決定を押すたびに、 (指定する)と (指定しない)が交互に切り換わります。
 - 7日先まで指定できます。

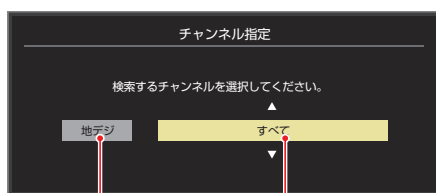


指定する日に「」がつくようにします。

- 指定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

- ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



放送の種類

チャンネル

- 放送の種類……すべて / BS / CS / BS/CS 4K / 地デジ
- チャンネル……指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル / すべて

- 指定が終わったら、決定を押す

「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。
- ▲・▼で「有料番組」を選び、決定を押す
 - ▲・▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、決定を押す

- ▲・▼で「検索開始」を選び、決定を押す

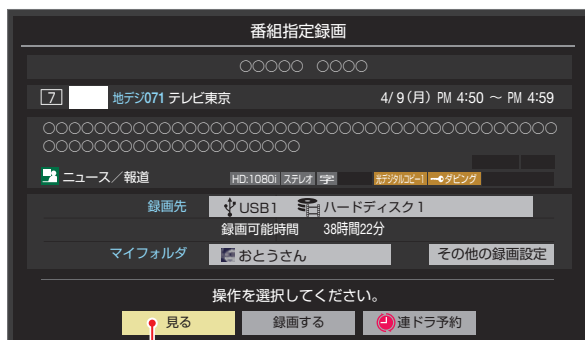
- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

- 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選んで決定を押す



- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。**26**の手順3をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、**地デジ**を押すと地デジ放送だけ、**BS**を押すとBS放送だけ、**BS/CS**を押すとBS/CS放送だけ、**CS**を押すとCS放送だけ、**4K**を押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。

- ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す



「見る」を選びます。

- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません)。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス

放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されているときは、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **dデータ** を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、**サブメニュー** を押し、**▲・▼**と**決定**で「その他の操作」⇒「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、**BS** を押します。

2 **サブメニュー** を押し、**▲・▼**と**決定**で「その他の操作」⇒「テレビ/ラジオ/データ切替」の順に進む

3 **▲・▼**で「データ」または「ラジオ」を選び、**決定**を押す

- **移動**で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。



- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切替ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切替はできません。
- 放送画面の操作説明などで、**dデータ**は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定(**55**～**57**)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「画面サイズ切換」を選び、決定 を押す

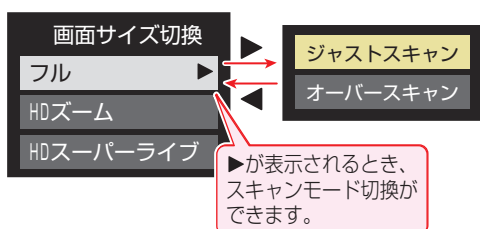
2 お好みの画面サイズを▲・▼で選び、決定 を押す

- 画面の見えかたについては、79頁 をご覧ください。

▶が表示される時

- 決定 を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

1 ▶ を押し、お好みのモードを▲・▼で選ぶ



- ジャストスキャン… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- オーバースキャン… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送およびBS・110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見るすることができます。

※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態が良くありません。
[サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

1 サブメニュー を押し、▲・▼と決定 で「その他の操作」⇒「信号切換」⇒「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲・▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。



■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます(基本の信号を選択した状態になります)。ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

他の映像・音声を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に二重音声のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に信号切換のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります



- サブメニューの「音声信号切換」(次の説明)でも音声の切り換えができます。

映像、音声を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声がある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声が切り換えられる番組は、番組説明画面に信号切換のアイコンが表示されます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と決定 で「その他の操作」⇒「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲・▼で選び、決定 を押す

- 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。



3 視聴したい映像、音声を▲・▼で選び、決定を押す

- 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、音声切換で選択する機能「18」と同じです。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 静止を押す

- 解除するときは、もう一度静止を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選び、決定を押す

節電モード	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエア無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

3 お好みの設定を▲・▼で選び、決定を押す

- 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることで本機の節電ができます。
- 「減1」、「減2」に切り換えた場合、画面の明るさをおさえて、その明るさに適した画質に自動調整されます。
 - 標準……………標準の明るさです。
 - 減1……………画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
 - 減2……………画面の明るさを「減1」よりもおさえて、さらに節電します。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。
- 取得する…電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- 取得しない…番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

- 待機にする…本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- 動作しない…テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエア無信号オフ

- 待機にする…放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
 - 動作しない…無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
- ※外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

- 待機にする…外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- 動作しない…無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

便利な機能を使う つづき

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。
- ヘッドホン出力設定には「通常モード」と「親切モード」があります。お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。
- ※ ヘッドホン出力設定の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」**63**をご覧ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「音声設定」⇒「音声出力詳細設定」⇒「ヘッドホン／音声出力設定」⇒「ヘッドホン出力設定」の順に進む

- 通常モード……ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音が出なくなります。
- 親切モード……ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。

- 親切モードのとき、スピーカーの音量は **+** **音量** で調節します。

ヘッドホンの音量調節のしかた

- 「通常モード」に設定しているときは、**+** **音量** で調節します。
 - 「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているときは、以下の手順で調節します。
- 1** **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「親切ヘッドホン音量」の順に進む
 - ヘッドホンを接続していないときは、選択できません。
 - 2** ◀▶で音量を調節する
 - **+** **音量** でも調節できます。

外部スピーカーで聴く

- ヘッドホン／音声出力端子に音声出力機器を接続して聴くときの音の出かたを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選び、**決定** を押し

2 ▲・▼で「音声出力」を選び、**決定** を押し

- 本機のスピーカーからは音は出ません。
- 「音声出力設定」**63** が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節します。「可変」の場合は、本機のリモコンで音量を調節できます。
- ※ 「音声出力設定」の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」**63**をご覧ください。

時計を表示する

- 画面に時計を表示させます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「時計」⇒「時計表示」の順に進む

2 ▲・▼を押し、「大きいサイズ」、「小さいサイズ」または「オフ」を選び、**決定** を押し

- 「オフ」を選ぶと時計表示を消します。



- ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン／音声出力設定」の「出力設定」を「ヘッドホン」**63** にしてください。

自動で電源が入るようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- 目覚まし時計として使うこともできます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と決定 で「時計」⇒「オンタイマー」の順に進む

2 以下の手順で設定する

オンタイマー	オフ
日時	月～金 AM 7:00
音量	30
チャンネル	BS 103
オンタイマー	

オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。
- 1 ▲・▼で「オンタイマー」を選び、決定 を押す
 - 2 ▲・▼で「オン」を選び、決定 を押す
 - オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で「オフ」を選びます。

日時

- オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。
- 1 ▲・▼で「日時」を選び、決定 を押す
 - 2 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を選ぶ
 - 曜日は「1回」、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

日時	
曜日と時刻を設定してください。	
現在時刻 AM 9:13	
月～金 AM 7:00	

- 3 設定が終わったら、決定 を押す

音量

- オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。
- 1 ▲・▼で「音量」を選び、決定 を押す
 - 2 ▲・▼でお好みの音量を選び、決定 を押す
 - 黄 を押すと、選んだ音量を聴くことができます。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

お知らせ

- 「オンタイマー」について
 - 本体の電源ボタンで電源を切ると「オンタイマー」が働きません。リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
 - オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
 - オンタイマーと番組予約が重なっていた場合には、ラストチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさに戻ります。
 - オンタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいっていた場合、オンタイマーは次の日に延期されます。
- 「オフタイマー」について
 - 設定後に電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

- 3 設定が終わったら、決定 を押す

- ※ サウンドシステムスピーカーから音声が出力されている場合は、設定は出力に反映されません。この場合、黄 を押し、選んだ音量を聴くことができません。

チャンネル

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定 を押す

- 2 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ

- 放送の種類 ……ラストチャンネル/地デジ/BS/CS/BS/CS 4K
- チャンネル ……設定した放送の種類に該当するチャンネル
 - ※ ラストチャンネルは、電源を切る前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)

- 3 設定が終わったら、決定 を押す

自動で電源が切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と決定 で「時計」⇒「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲・▼で選び、決定 を押す

オフタイマー
使用しない
あと30分
あと60分
あと90分
あと120分

- 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときにサブメニュー を押し「時計」を選択して決定 を押すと、「オフタイマー」の項目に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機背面の録画専用USB端子に接続したUSBハードディスクにデジタル放送番組を録画できます(データ放送、ラジオ放送番組、外部入力(HDMI1～3、ビデオ入力)からの映像・音声は録画できません)。
 - USBハードディスクの接続は製品同梱の取扱説明書の「USBハードディスクを接続する」[\[25\]](#)をご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク(注)	<ul style="list-style-type: none"> ● USBハードディスクの電源を入れておきます。 ● USBハードディスクの残量を確認します。[36] ● 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。[32] ※ 残量不足や番組数超過(3000を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除します。 [37]

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、[\[23\]](#)を参照し、登録してください。
- USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」[\[37\]](#)が「削除しない」に設定されています。



● USBハードディスクについて

USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。本機に接続したUSBハードディスクを録画した内容の長期保存として使用しないでください。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。



- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません(「録画番組を修復する」[\[34\]](#)の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります)。
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「録画・再生設定」⇒「USBハードディスク設定」の順に進む

録画・再生設定	
USBハードディスク設定	>
録画設定	>
再生設定	>
オートメディアプレーヤー	オン

2 設定する項目を▲・▼で選んで**決定** を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

- リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。
- ※ 登録できるのは8台までです。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 登録する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
- 2 登録の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定** を押す
- 3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定** を押す
 - 初期化と登録の処理が始まります。
- 4 終わったら、登録結果の内容を確認し、**決定** を押す

登録名を変更するとき

- 1 登録名を変更する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す
- 3 文字入力画面で登録名を入力する
 - 文字入力の方法は、**77** をご覧ください。

登録を解除するとき

- 1 登録を解除する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す
 - 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されているとき録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。
- ※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
- ※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
- ※ 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
- ※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

1 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- オン……USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- オフ……本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。
- 1 取りはずす機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
 - 2 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定** を押す
 - 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。
 - 3 USBハードディスクを取りはずし、**決定** を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。
- 1 テストする機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
 - テストが始まります。終了までに数分間かかります。
 - テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
 - 録画……ハイビジョン画質で録画ができるか
 - 録画中の再生……ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
 - 録画中の早見早聞……録画中にハイビジョン番組の早見早聞**33**ができるか、録画中に4K番組の再生ができるか
- ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

USBハードディスクの設定をする つづき

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 初期化する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- 2 初期化の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで**決定**を押す
- 3 初期化終了の画面で**決定**を押す

録画の基本的な設定をする

- USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 **設定**を押し、▲・▼と**決定**で「録画・再生設定」⇒「録画設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

録画先機器の設定	USB 1
チャプター設定	本編




録画に使用する機器を設定する

- 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

1 ▲・▼で「録画先機器の設定」を選び、**決定**を押す

録画先機器の設定	USB 1
チャプター設定	本編

2 録画に使用する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す

録画先機器の設定		
USB 1		ハードディスク 1
USB 2		ハードディスク 2
USB 3		ハードディスク 3

チャプター分割のしかたを設定する

- シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります)。

- 1 ▲・▼で「チャプター設定」を選び、**決定**を押す
- 2 チャプター分割の場面を▲・▼で選び、**決定**を押す

本編
音楽
本編と音楽
オフ

- **本編**……………本編とCMの間でチャプター分割されます。
- **音楽**……………楽曲の前後でチャプター分割されます。
- **本編と音楽**…上記の両条件でチャプター分割されます。
- **オフ**……………チャプター分割をしません。

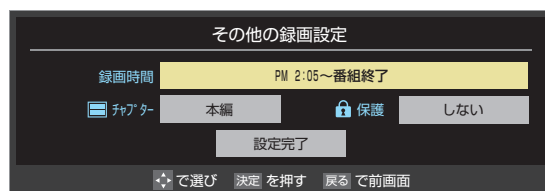
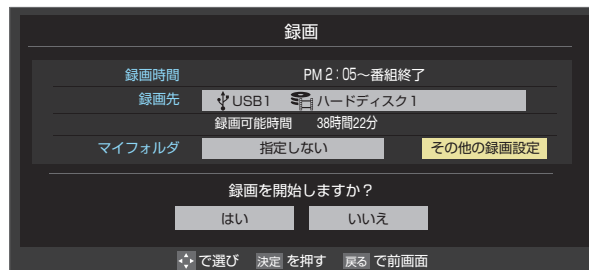
※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

見ている番組を録画する

- 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
- ※ USBハードディスクに録画中はこの操作はできません。

- 1 テレビ放送を見ているときに「サブメニュー」を押し、▲・▼で「録画」を選び、決定を押す
 - 録画できない番組の場合は、サブメニューの「録画」は選べません。

- 2 録画設定を変更する場合は、▲・▼・◀・▶で「その他の録画設定」を選んで決定を押す



その他の録画設定でできる設定

● 録画時間の変更

お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。

- 1 「録画時間」で決定を押し、「時間指定」で録画終了時刻を設定して決定を押す
- 2 「設定完了」を選び、決定を押す

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」[29](#)をご覧ください。

- 3 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

- 録画が開始されます。
- 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」または「切」にします(録画は継続されます)。
- ※ 予約録画が始まる時は、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

- 1 録画中に^{終了}または \blacksquare を押す

- 2 「録画中止」の画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す

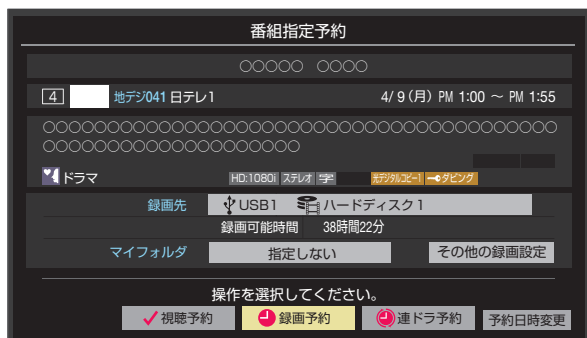
留守録機能について

- 本機は、録画予約を設定することで自動的に番組を録画できます。
- ※ 録画中でも、テレビの視聴が可能です。
BS・110度CSの4K放送を録画中は、BS・110度CSの4K放送は録画中の番組のみ視聴できます。

番組表で予約をする

- 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

- 1 番組表を押して、番組表を表示させる
- 2 予約する番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
 - 番組指定予約画面が表示されます。
- 3 以下の操作で予約をする
 - 録画機器や設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」[29]の操作をします。



- 1 ▲・▼・◀・▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す
 - 視聴予約：指定した番組の視聴を予約します。
 - 録画予約：指定した番組の録画を予約します。
 - 連ドラ予約：同じ番組を毎回録画します。[27]
- 2 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

予約する日時を変更する場合

- 再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。
- 1 ▲・▼・◀・▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す
 - 2 メッセージが表示されたら、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
 - 3 「日時を指定して予約をする」[28]の手順3以降の操作をする

視聴予約について

- 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。
- BS/CSの4K放送の録画予約がある場合、同じ時間帯にBS/CSの4K放送の視聴予約を設定することはできません。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「視聴できる番組を制限する」[70]をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」[14]をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

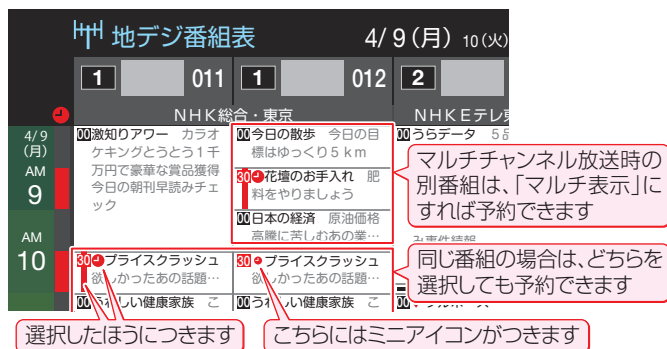
- 1 ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
 - 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- 2 予約を取り消す番組を確認し、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- 1 決定を押す
- 2 「予約の確認・変更・取り消しをする」[30]の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」[13]に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。[11]
- 予約の確認や取り消しについては[30]を、予約の優先順位については[31]をご覧ください。
- 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては受け付けない(録画しない/録画機能が動かない)ことがあります。

連続ドラマを予約する

● 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。



- 本機では、PPV (ペイ・パー・ビュー)番組の連ドラ予約を禁止しています。PPV (ペイ・パー・ビュー)番組を連ドラ予約した場合、録画は実行されません。

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」**[29]**の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲・▼・◀・▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

- 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



ここを選びます。

5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」**[29]**の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

- 1 **[サブメニュー]** を押し、▲・▼で「連ドラ予約」を選んで **決定** を押す
- 2 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準(指定した番組の放送曜日と開始時刻)と、追跡キーワード(番組名など)を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
 - ※ 追跡基準(開始時刻)の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。



- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 予約の確認や取り消しについては**[30]**を、予約の優先順位については**[31]**をご覧ください。

日時を指定して予約をする / 番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

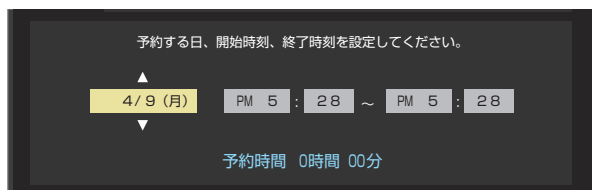
1 サブメニュー を押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで決定 を押す

2 青 を押す

- 日時指定予約画面が表示されます。
- 視聴制限番組は表示されません。

表示させるときは、緑 を押して、視聴制限一時解除してください。

3 録画予約の日時を設定する

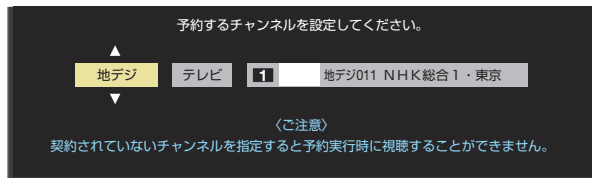


1 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

2 設定が終わったら、決定 を押す

4 録画するチャンネルを設定する



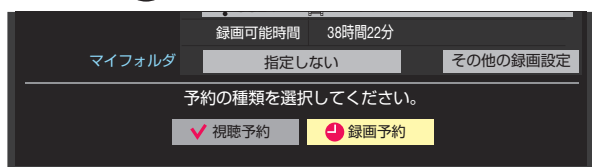
1 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ

- 放送の種類……地デジ / BS / CS / BS/CS 4K
- 放送メディア……テレビ / ラジオ(BS、110度CS だけ) / データ
- チャンネル……指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

2 設定が終わったら、決定 を押す

5 録画設定を変更する場合は、29 の手順で操作をする

6 ▲・▼・◀▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定 を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定 を押す
メッセージなどが表示された場合

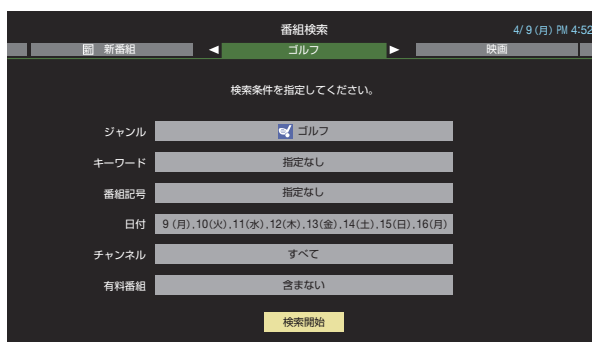
- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、26 をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1 番組表 を押して、番組表を表示させる

2 緑 (番組検索) を押す

- 番組検索画面が表示されます。



3 「条件を絞りこんで番組を探す」15 の手順3～5の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲・▼で選び、決定 を押す



5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」26 の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては、30 を、予約の優先順位については、31 をご覧ください。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

- 1** 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- 録画・録画予約の「録画先」、「マイフォルダ」の設定は、画面上の「録画先」、「マイフォルダ」を選んで変更します。

「録画先」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- 2 ▲・▼で設定したい録画先を選び、決定を押す

「マイフォルダ」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- 2 ▲・▼で設定したいフォルダグループを選び、決定を押す

- 2** 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- ※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります(「×」は設定がありません)。

- 3** ▲・▼で内容を選び、決定を押す

- 4** ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

項目	内容	USB ハードディスク
録画先	● 録画をする機器を選びます。	○
マイフォルダ	● 番組の再生時に探しやすいするために、録画時にフォルダ分けします。再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。 38頁	○
CHAPTER	● 「本編」に設定すると、本編とCMの間でCHAPTER(章)が分割されます。 ● 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でCHAPTERが分割されます(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ)。 ● 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でCHAPTERが分割されます。 ● CHAPTERの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 ● 録画済の番組でCHAPTER編集をすることもできます。 38頁 ※ 番組内容などによってはCHAPTER分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※ CHAPTER数の上限(99個)に達すると、それを超えるCHAPTERの作成はできなくなります。	○
保護	● 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。 37頁	○
連ドラ	● 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します)。 ● 文字入力の方法は、 77頁 をご覧ください。 ● 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。 38頁	○
追跡キーワード	● 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)。	○
追跡基準	● 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。	○
上書き録画	● 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。	○
放送時間	● 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。 ● ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については 31頁 をご覧ください。	○
録画品質	● 「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。 ● 「ハイビジョン画質(DR)」 デジタル放送をそのままの画質で録画します。 ● 「録画先の設定画質」 録画機器側で設定されている録画モードから選択します。	×

予約の確認・変更・取り消しをする

● 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで決定を押す

● 視聴制限番組は表示されません。

表示させるときは、を押して、視聴制限一時解除してください。

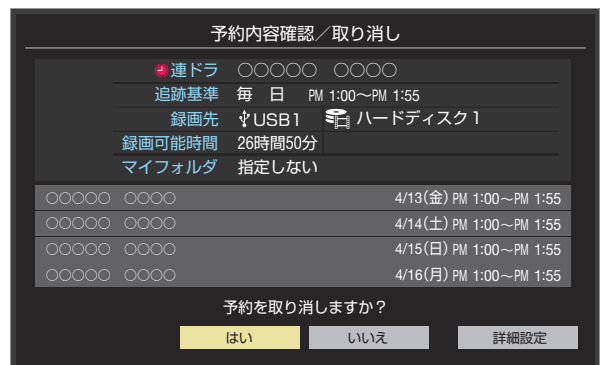
2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲・▼で選び、決定を押す





録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。

連ドラ予約を取り消すとき

1 ◀▶ で「はい」を選び、決定を押す



● 予約時間が重なっているときは、が表示されます。
● 同一の有料番組が重なっている場合は、が表示されます。

※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

1 ▲・▼・◀▶ で「詳細設定」を選び、決定を押す

2 ▲・▼で設定を変更する項目を選び、決定を押す

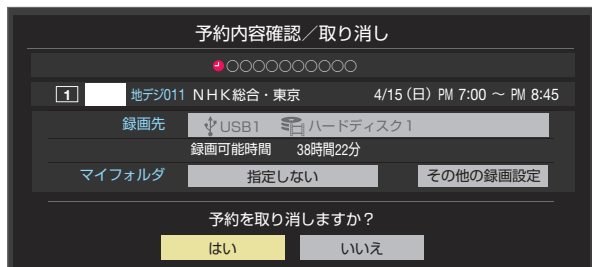
● 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の表を参照してください。

3 ▲・▼・◀▶ で「設定完了」を選び、決定を押す

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

1 ◀▶ で「はい」を選び、決定を押す



※ BS・110度CSの4K放送PPV(ペイ・パー・ビュー)番組の予約を取り消しても、購入手続きは取り消されません(予約を取り消しても購入情報が残ります)。

録画設定を変更するとき

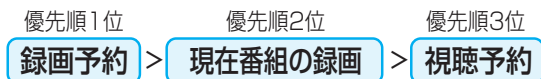
● 前ページの「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

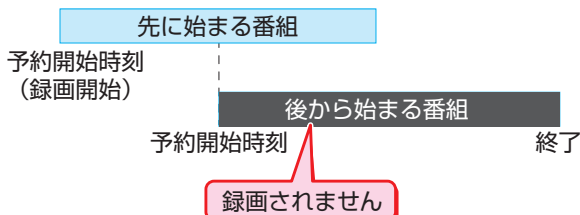
- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



予約時間の一部が重なっているとき

- 予約録画が重なった場合後発の予約は実行されません

予約開始時刻の早い番組を優先



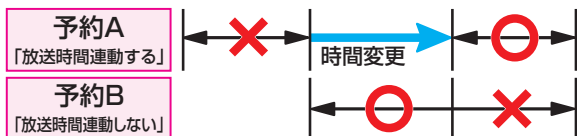
- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約15秒が録画されません。

放送時間が変更されたとき

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

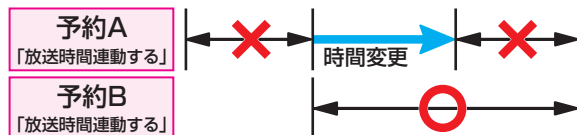
- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。
- 例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。



「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

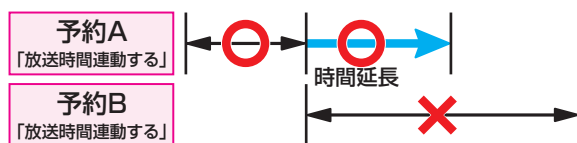
1 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。
- 例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



2 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。
- 例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。



3 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 最初に予約設定した番組が優先され、2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下ようになります。

予約した番組放送が始まる時

- 予約を中止する場合は、**終了**または**録画**を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まる時は、メッセージが表示されます。**決定**を押し、暗証番号**703**を入力してください。

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リストを押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。

1 « 録画リスト » で分類タブを切り換える

- すべて……………すべての録画番組が表示されます。
- 未視聴……………未再生の録画番組が表示されます。
- 曜日別……………録画した曜日ごとに表示されます。
- ジャンル別……………ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- 連ドラ別……………「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- マイフォルダ別……………指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

2 ◀▶ でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組だけリストに表示されます。
- 分類が「未視聴」の状態、録画リストを表示しなおした場合は「すべて」の状態になります。
- 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、「サブメニュー」を押してから、「視聴制限一時解除」を選んで「決定」を押してから暗証番号を入力してください。

3 見たい番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビ放送になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

4 番組再生を終了するには、[停止]または[終了]を押す

- 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生する— 頭出し再生

- 1 再生する番組を選んでから、「サブメニュー」を押し、▲・▼で「頭出し再生」を選んで「決定」を押す

録画中の番組を再生する— 追っかけ再生

- 1 録画中の番組を▲・▼で選んで「決定」を押す

チャプターの一覧画面から再生する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。

※ BS・110度CSの4K録画番組は、「チャプター一覧画面」の操作はできません。

- 1 再生する番組を▲・▼で選んで「緑」を押す

- チャプター一覧画面が表示されます。

- 2 再生するチャプターを▲・▼・◀▶で選んで「決定」を押す

- 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

- 1 「サブメニュー」を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで「決定」を押す

- 画面右上に「サーチ」が表示されます。

- 2 1 ~ 10(0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10(0) 1 2 5 10(0) 5 の順に押します。

録画リスト (例)

録画リスト (例) の詳細説明:

- 分類タブ:** すべて、未視聴、曜日別、ジャンル別、連ドラ別、マイフォルダ別
- グループタブ:** スポーツ、ドラマ、音楽、パズル、その他
- 使用中の機器:** USB1, ハードディスク1
- 選択中の録画番組が再生画面に表示されます。**
- 選択中の録画番組の情報:** 地デジ 011, NHK総合・東京, 2018/4/9(月) PM 9:00 (01:58)
- 自動削除機能が有効のときに表示:** 自動削除
- 機器の情報:** 録画可能時間: 253時間00分(4), 184時間00分(4), 残量: 46%, 自動削除
- 操作ガイド:** 録画リスト切替, ハードディスク選択(機器選択), 削除, チャプター一覧, タブリング, 防カニユ
- 選んだ番組の番号/録画番組数:** CS 301 4/9(月)
- 番組の並び順:** 放送日
- 放送日:** 2/30 新しい順
- 録画中アイコン:** 録画中アイコン (赤い丸)
- 未再生の番組:** NEW
- 上書きアイコン:** G
- コピー制御アイコン:** 9
- 各マイフォルダのアイコン:** CS 258 4/8(日), BS 258 4/8(日), CS 258 4/8(日), BS 258 4/7(土)
- 保護アイコン:** 保護アイコン (鍵)

お知らせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています)。

録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は3000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内容
	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押し続けると、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 放送番組の視聴中に押し続けると、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
	再生中に押し続けると一時停止になり、もう一度押し続けると再生が再開されます。
	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押し続けるとコマ送りができます。 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押し続けると、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押し続けると0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなる場合があります。 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中に押し続けると、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 <ul style="list-style-type: none"> 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 シーン検索のように、◀▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
	再生中または早見早聞での再生中に押し続けると、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または早見早聞での再生中に押し続けると、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。 <ul style="list-style-type: none"> チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押し続けた場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 <ul style="list-style-type: none"> チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押し続けた場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。
	再生中に押し続けると、録画リストが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 放送番組視聴時などに押し続けた場合も録画リストが表示されます。

- ※ BS・110度CSの4K録画番組は、「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」「コマ送り」「コマ戻し(0.5秒戻し)」の操作はできません。
- ※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。
- ※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、▶/早見早聞で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ/ワンタッチリプレイの時間を変更する

- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておく、飛ばしすぎて戻すときに便利です。
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「再生設定」の順に進む
 - 2 ▲・▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、**決定** を押す
 - 3 ▲・▼で時間を選び、**決定** を押す

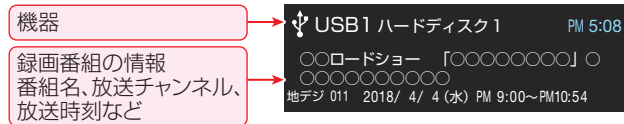
録画した番組を再生する つづき

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

① 再生中に **画面表示** を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



再生タイムバー

② 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

番組説明を見る

① **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組説明」を選んで **決定** を押す

- 番組説明画面が表示されます。

② 番組説明画面を消すには、**終了** を押す

- しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

① **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「USBハードディスク設定」の順に進む② ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、**決定** を押す③ 番組を修復する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す④ 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。

⑤ 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、**決定** を押す

- この操作には、30分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。
- ※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

見たい録画番組を探して再生する

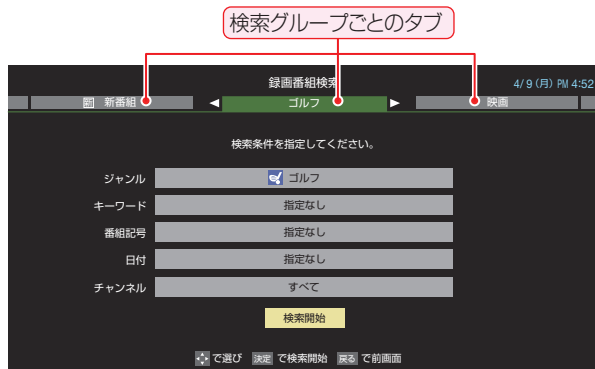
- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

1 録画リストの表示中に「サブメニュー」を押す

2 ▲・▼で「番組検索」を選び、決定を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀・▶で選ぶ

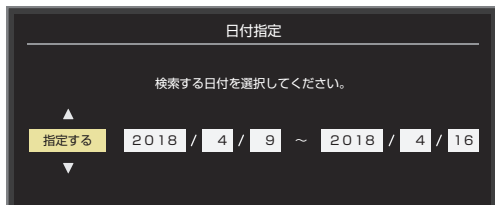


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」[15]の手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す



2 ◀・▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ

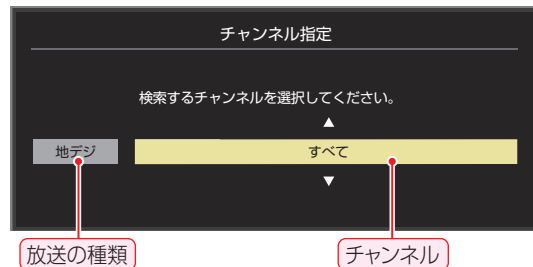
3 ◀・▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ

4 指定が終わったら、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

2 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



- 放送の種類…すべて / BS / CS / 地デジ / BS/CS 4K
- チャンネル…指定した放送の種類に該当するチャンネル / すべて

3 指定が終わったら、決定を押す

5 ▲・▼・◀・▶で「検索開始」を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を▲・▼で選び、決定を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

録画リストのさまざまな機能を使う

- 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。



繰り返し再生の設定を変える

- 録画番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「再生設定」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 1コンテンツリピート……選択した一つの番組の再生を繰り返します。
- リピート……すべての番組の連続再生を繰り返します。
- オフ……繰り返し再生をしません。

- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます(1コンテンツリピート: 、リピート: )。
- 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

- 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 新しい順……日付の新しい順に表示されます。
- 古い順……日付の古い順に表示されます。

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 **青** を押す

- 機器選択画面が表示されます。
- ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

連ドラ予約をする

- 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲・▼で選び、**サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、**決定** を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

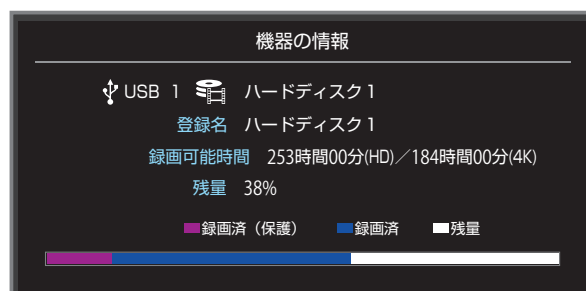
- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」**29** の操作をします。

機器の情報を確認する

- 使用中の機器の情報を確認します。
- USBハードディスクの残量も画面で確認できます。
 - ※ 残量表示や録画可能時間表示は、目安としてご利用ください。
 - ※ USBハードディスクの残量は、BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)とBS・110度CSの4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで **決定** を押す

- 機器の情報画面が表示されます。
例: USBハードディスクの場合



2 情報画面を消すには、**決定** を押す

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

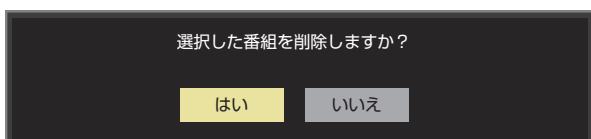
● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

- 1 消す番組を▲・▼で選び、^赤  (削除)を押す
 - 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除(右下参照)してから^赤  を押してください。

- 2 ▲・▼で「1件削除」を選び、**決定**を押す

- 3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す




- 4 削除が終了したら、**決定**を押す

複数の録画番組を消す

- 1 消す番組のどれかを▲・▼で選び、^赤  (削除)を押す

- 2 ▲・▼で「複数削除」を選び、**決定**を押す

- 3 消す番組を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - **決定**を押すたびに、とが交互に切り換わります。削除する番組にをつけます。
 - 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、^青  を押して保護を解除してから**決定**を押します。

をつけた番組が削除されます は ^青  で解除してから




- 4 選択が終わったら^赤  (削除実行)を押す

- 5 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 6 削除が終了したら、**決定**を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

- 1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる
 - 「録画した番組を再生する」の手順2をご覧ください。

- 2 ^赤  (削除)を押し、▲・▼で「グループ内全削除」を選び、**決定**を押す

- 3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 4 削除が終了したら、**決定**を押す

自動的に消す(自動削除設定)

- お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。


- 1 **サブメニュー**を押し、▲・▼で「自動削除設定」を選んで**決定**を押す

- 2 ▲・▼で「削除する」または「削除しない」を選び、**決定**を押す

誤って消さないように保護する

- 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。
- ※ 録画中にこの操作はできません。

- 1 保護する番組を▲・▼で選び、**サブメニュー**を押す

- 2 ▲・▼で「保護」を選び、**決定**を押す
 - 選択した番組が保護されます(がつかます)。
 - 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

CHAPTER 編集をする

録画済番組の再生中に編集する

- 録画済番組の再生中にCHAPTERの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる (32頁 1~2)

2 CHAPTER編集をする録画済番組を▲・▼で選び、決定を押す

3 各種の再生操作をして、CHAPTER分割をしたい場面で静止を押す

- 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。



- ◀▶・▶▶で、コマ送りやスロー再生ができます。

▶▶	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止中に押すとコマ送りができます。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
◀▶	<ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。

4 青 または 赤 でCHAPTER編集をする

- 青 を押すと、一時停止した場面でCHAPTERが分割されます。
- 赤 を押すと、一時停止したCHAPTERとその前のCHAPTERが結合されます。
- 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

CHAPTER 2 グループ名を変更する

- 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。
- 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。
- 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる (32頁 1~2)

- 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを◀▶で選ぶ

例 「わたし」のグループを選択



3 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダ名の変更」の順に進む

- 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇒「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4 文字入力画面でグループ名を入力する

- お好みの分類名にすることができます。
- 文字入力の方法は、77頁をご覧ください。
- 全角文字で10文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例 「わたし」⇒「まさみのお気に入り」に変更



ほかのグループに移動する

- 録画番組をほかのグループに移動することができます。
たとえば、録画時の設定で「わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。
- ※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。
- ※ 保護された録画番組は、移動することはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(32頁 1~2)

2 移動する番組が保存されているグループのタブを◀▶で選ぶ

3 移動する番組を▲▼で選ぶ

4 サブメニューを押し、▲▼と決定で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ▲▼で以下から選び、決定を押す

- 1件変更 …… 選択中の番組を別のグループに移動します。
- 複数変更 …… 複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- グループ内全変更 …… 選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを▲▼で選び、決定を押す

- グループアイコンとグループ一覧(お買い上げ時の設定)

	みんな		お気に入り1
	おとうさん		お気に入り2
	おかあさん		お気に入り3
	ぼく		お気に入り4
	わたし		お気に入り5
	おじいちゃん		お気に入り6
	おばあちゃん		指定しない

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

1 移動する番組を▲▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、とが交互に切り換わります。移動する番組にをつけます。
- 保護されている番組は移動できません。

移動する番組にをつけます






2 移動する番組をすべて選んだら黄を押す

8 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

録画番組をダビング(ムーブ)する





- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他のハードディスクにダビングすることができます。
 - USBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)だけです。
- ※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ※ ダビング中の番組は再生できません。

USBハードディスク間でムーブする


- 1 録画リストを表示させる([32] 1~2)
- 2 ダビングする番組を▲・▼で選び、を押す
- 3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、を押す
- 4 ダビング先を▲・▼で選び、を押す
 - ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



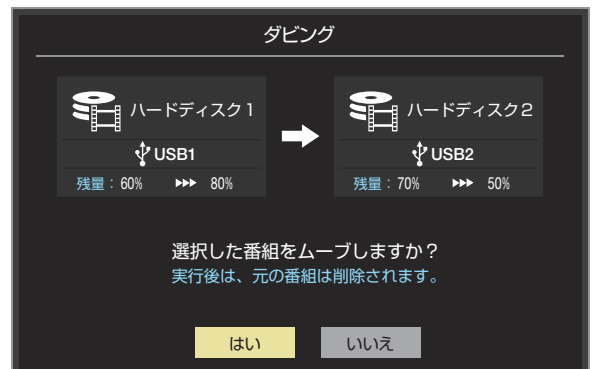
5 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

- 1 ダビングする番組を▲・▼で選び、を押す
 - を押すたびに、とが交互に切り換わり、をつけた番組がダビングされます。
 - 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、を押して保護を解除してからを押します。



- 2 ダビングする番組をすべて選んだらを押す
 - 一度にダビングできるのは64番組までです。

6 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す



外部入力画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI入力1~3、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続については、製品同梱の取扱説明書の「外部機器を接続する」をご覧ください。



1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

- **入力切換** を押すと次の入力を選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順3の操作をします。
 - 「外部入力スキップ設定」**[42]** が「する」になっている入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。

3 入力切換 を繰り返し押すか、または▲・▼を押して入力を選ぶ

- **入力切換** を押すたびに以下のように切り換わります。



- ▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。
- 少し待つと選択した入力に切り換わります。

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、「映像メニュー」**[58]** を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。



- 本体ボタンでも、「入力切換」ができます。**[7]**
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」**[42]** をご覧ください。

外部入力機能を設定する

- 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。
- 「HDMIモードを変更する」、および「自動で低遅延モードを切り換える設定にする」の操作をするときは、事前に**入力切換**を押して、HDMIモードを変更する外部入力を選びます。



入力切換を押すたびに以下のように切り換わります。



1 **設定**を押し、▲・▼と**決定**で「その他の設定」⇒「外部入力・HDMI連動設定」⇒「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

外部入力表示設定	>
外部入力スキップ設定	>
RGBレンジ設定	>
HDMI 1 モード選択	通常モード
HDMI 1 ALLM設定	有効
Dolby Digital Plus入力設定	連動する
ビデオ音声入力設定	ビデオ音声

入力切換時に画面に表示される機器名を設定する

- 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。
- 1 ▲・▼で「外部入力表示設定」を選び、**決定**を押す
 - 2 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	ブルーレイ
HDMI 2	ブルーレイ
HDMI 3	ブルーレイ
ビデオ	ブルーレイ

3 表示させる機器名を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

HDMI 1	
ブルーレイ	DVD
VTR	CATV
ゲーム	チューナー
PC	ムービーカメラ
表示しない	

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

使用しない外部入力をスキップする

- 入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする(飛び越す)ことができます。
- 1 ▲・▼で「外部入力スキップ設定」を選び、**決定**を押す
 - 2 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	しない
HDMI 2	しない
HDMI 3	しない
ビデオ	しない

3 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定**を押す

- する……………入力切換時に入力をスキップします。
- しない……………入力切換時にスキップしません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMIモードを変更する

- **高速信号モード**は4K映像に対応している機器からの4K映像をより高精細に再生するときに選びます。
 - **通常モード**は「高速信号モード」で映像や音声为正しく出力されないときに選びます。
 - **互換性優先モード**は「通常モード」で映像や音声为正しく出力されないときに選びます。
- ※ 4K映像信号には対応していません。



- 「HDMI モード選択」は、HDMI入力毎に設定が必要です。先にHDMI1 ~ 3の入力を選んでから設定してください。

- 1 ▲・▼で「HDMI * モード選択」を選び、**決定**を押す
- 2 「*」は現在選ばれているHDMI入力の番号になります。HDMI入力1を選んでいるときは、「HDMI 1 モード選択」と表示されます。
- 2 ▲・▼を押してモードを選び、**決定**を押す
 - 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

自動で低遅延モードを切り換える設定にする

- ALLM (Auto Low Latency Mode) 設定を切り換える事で、選択している入力機器からの情報に連動して、自動的に「低遅延モード」[60] の設定を切り換えることができます。



- 「ALLM設定」は、HDMI入力毎に設定が必要です。先にHDMI1～3の入力を選んでから設定してください。

- 1 ▲・▼で「HDMI * ALLM設定」を選び、決定を押す
- 「*」は現在選ばれているHDMI入力の番号になります。HDMI入力1を選んでいるときは、「HDMI 1 ALLM設定」と表示されます。
- 2 ▲・▼で以下の設定から選び、決定を押す
 - 有効：入力機器からの情報に連動して、低遅延モードのオン/オフが自動的に切り換わります。
 - 無効：この機能は働きません。
 - 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

Dolby Digital Plusの入力を設定する

- HDMI端子の入力設定をDolby Digital Plus対応サウンドシステムと連動するかどうかを設定します。
- 1 ▲・▼で「Dolby Digital Plus入力設定」を選び、決定を押す
 - 2 ▲・▼で以下の設定から選び、決定を押す
 - 連動する：本機のHDMI入力1(ARC)端子に接続したDolby Digital Plus対応サウンドシステムに適した音声設定を、本機のHDMI端子に設定します。
 - 連動しない：本機のDolby Digital Plus設定で動作します。
 - 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

- 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

- 1 ▲・▼で「RGBレンジ設定」を選び、決定を押す
- 2 設定するHDMI入力を▲・▼で選び、決定を押す

HDMI 1	オート
HDMI 2	オート
HDMI 3	オート

- 3 ▲・▼で以下の設定から選び、決定を押す
 - オート……………自動切替になります。
 - フルレンジ……………RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
 - リミテッドレンジ……………RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

ビデオ入力の音声入力を設定する

- HDMI入力2端子に接続した機器からの音声を本機から出したいときに、ビデオ入力の音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用するよう設定できます。

- 1 ▲・▼で「ビデオ音声入力設定」を選び、決定を押す
- 2 ▲・▼で以下の設定から選び、決定を押す

ビデオ音声入力設定
ビデオ音声
HDMI 2アナログ音声

- ビデオ音声……………ビデオ入力の音声入力端子として使用します(お買い上げ時の設定)。
- HDMI 2アナログ音声……………HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

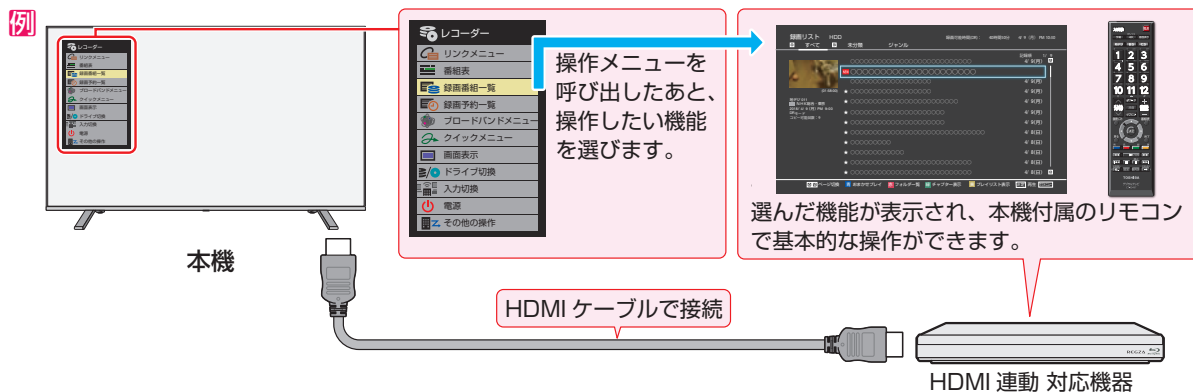
HDMI連動機能について

HDMI連動機能でできること

- 本機は以下のHDMI連動機能に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

- 本機に接続したHDMI連動対応の録画機器や再生機器などの操作が本機のリモコンでできます。 **47**



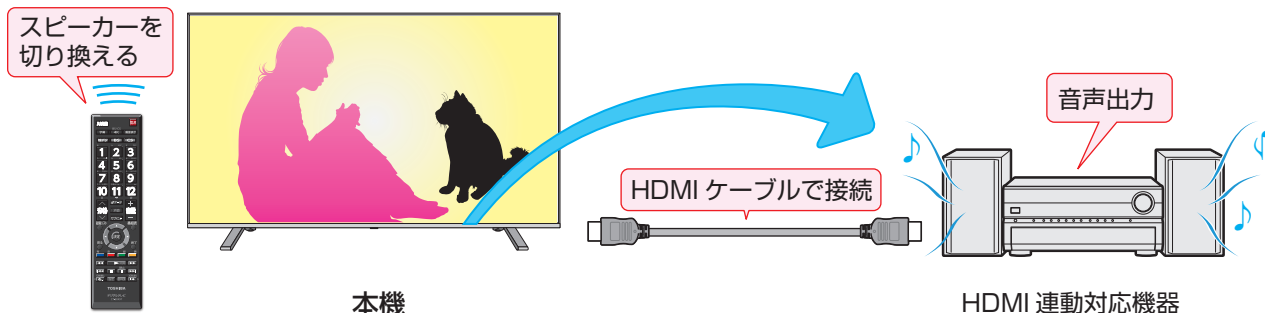
電源の入/切や入力切り換えの動作を連動させる

- ワンタッチプレイ …… HDMI連動対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいる、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
- システムスタンバイ …… 本機の電源を「切」にすると、機器も連動して電源が「切」(待機)になります。

オーディオ機器と連携させる

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。 **48**

例 音声に対応機器のスピーカーで聴く



準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動対応の映像機器やオーディオ機器	映像機器の接続： 製品同梱の取扱説明書 16 オーディオの接続 製品同梱の取扱説明書 18 本機の設定： 46	● HDMI連動機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI連動機能について

- 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC (Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
 - 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
 - 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができないことがあります。
 - HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
 - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
 - すべての接続機器の動作を確認してください。
- ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化することがあります。

オーディオ機器について

- オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ないことがあります。
- オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しないことがあります。



※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

■ システムスタンバイについて

- 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
- 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「その他の設定」⇒「外部入力・HDMI連動設定」⇒「HDMI連動設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

HDMI連動機能	使用する
リモコン動作モード	テレビ優先
連動機器→テレビ入力切換	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
サウンドシステム連動	使用する
電源オン時優先スピーカー	テレビスピーカー

3 設定したい項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。
- ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておく、と、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
- ※ 本体の電源ボタンで電源を切った場合、この機能は動きません。リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしてください。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります）。
- ※ 本機の「省エネ設定」**[19]**や「オフタイマー」**[21]**とも連動します。

サウンドシステム連動

- 「使用する」に設定すると、HDMI連動対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。
 - 音声をテレビから出すか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切換
 - オーディオ機器の音量調節や消音テレビのリモコンでサウンドシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。

電源オン時優先スピーカー

- 本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。
- ※ 「サウンドシステム連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定した場合に設定できます。
 - **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声が出ます。
 - **サウンドシステム**
オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。**[48]**
- ※ サブメニューでスピーカーを切換した場合は本機の電源操作で、電源オン時優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。



- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が動かないことがあります。
- 「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しても、本機の状態によっては自動的に入力が切り換わらないことがあります。

本機のリモコンで対応機器を操作する

本機のリモコンでできるおもな操作

- HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
- ※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



本機のリモコンボタン	動作の内容
	番組を再生します。
	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
	録画や再生を停止します。
	一つ先に進んで頭出し再生をします。
	前に戻って頭出し再生をします。
	再生中に押すと早送り再生になります。
	再生中に押すと早戻し再生になります。
	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
	再生中に押すと少し戻って再生します。
	メニューなどで項目を選択します。
	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
	一つ前の操作に戻ります。
	操作を終了します。
	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能进行操作します。
	オーディオ機器の音量を調節します。
	オーディオ機器の音を消します。

オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。ARC対応のオーディオ機器はARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1(ARC)端子に接続し、光デジタルケーブルの接続は不要です(製品同梱の取扱説明書の「外部機器接続例」[\[16\]](#)をご覧ください)。
- 光デジタルケーブルの代わりに音声用コードで接続することもできます。その場合は、「ヘッドホン/音声出力設定」で「音声出力」を選び、「音声出力設定」を「固定」に設定します。[\[63\]](#)
- HDMI連動に非対応のオーディオ機器の場合、本機のスピーカーから音声を出さないときは、以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節してください。

1 [サブメニュー](#) を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選んで [決定](#) を押す

2 ▲・▼で「サウンドシステムスピーカー」または「音声出力」を選び、[決定](#) を押す

- 以下の場合に「サウンドシステムスピーカー」が表示されます。
 - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている(オーディオ機器のスピーカーから音声が出力されている)。
 - 「HDMI連動設定」[\[46\]](#) が以下のように設定されている。
 - HDMI連動機能……………使用する
 - サウンドシステム連動……………使用する
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。

スピーカー切換

テレビスピーカー

音声出力

3 音量を調節する

- HDMI連動対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。
- ※ HDMI連動非対応のオーディオ機器を音声用コードで接続している場合は、「ヘッドホン/音声出力設定」の「音声出力設定」[\[63\]](#) に従った方法で音量を調節してください。
 - 固定……………オーディオ機器で音量を調節します。
 - 可変……………本機のリモコンで音量を調節します。



- 音量表示が「サウンドシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「通常モード」[\[20\]](#) 選択時はヘッドホン端子から音声は出ません。
- サウンドシステム音声連動対応のオーディオ機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。

USB機器を接続する

● USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。[50]～[54]

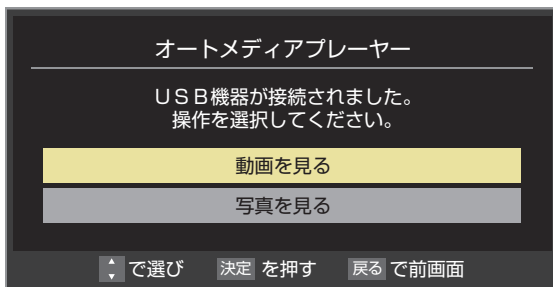
※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。



- USB機器は、背面のUSB (通常録画)端子には接続しないでください。
- USB機器を取りはずすときは、動画や写真の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。

機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする

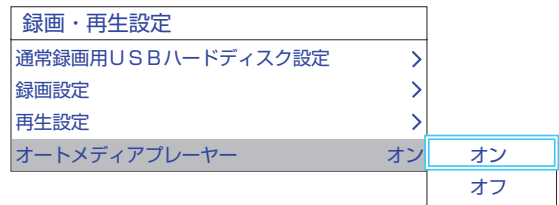
● 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておく、放送番組や外部入力の視聴時にUSBメモリーなどを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます(お買い上げ時は「オン」に設定されています)。



※ USBメモリーなどを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送番組・外部入力の視聴以外の操作をしているときにUSBメモリーなどを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

1

設定 を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「オートメディアプレーヤー」の順に進む



2

▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- オン……オートメディアプレーヤーの画面が表示されます。
- オフ……オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。



- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USBハブを使って本機のUSB端子に接続した場合に認識できるUSBハブは二つで機器数は最大7台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1スロットで1台とみなされます。なお、USBハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

動画を再生する

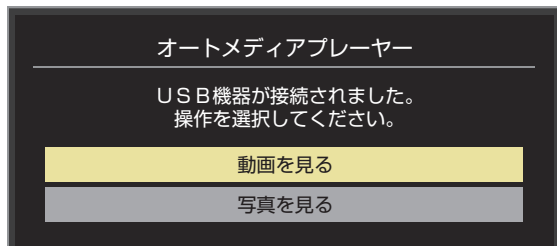
- USB機器に保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」**49**をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、**81**をご覧ください。



- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。

動画再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「動画を見る」を選んで**決定**を押し、手順**3**から操作します。

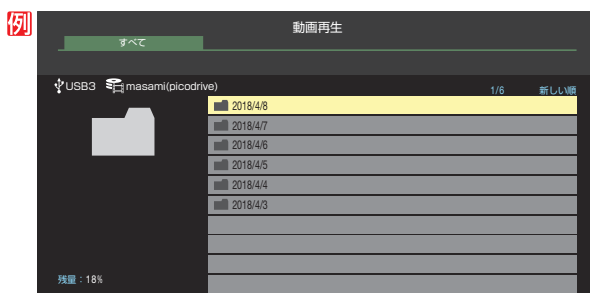


- 1** **サブメニュー**を押し、▲・▼と**決定**で「メディアプレーヤー」⇒「動画」の順に進む

- 2** 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
 - **青**を押すと、再生機器を検索することができます。

- 3** フォルダを▲・▼で選び、**決定**を押す

- 機器によっては、この操作はありません。
- 複数のUSBハードディスクが接続されたホームサーバー機能対応レグザなどの場合は、それぞれのUSBハードディスクがフォルダとして表示されます。



- 4** 動画を▲・▼で選び、**決定**を押す



- 再生中に次ページのリモコン操作ができます。

表示モード切換ができるとき

- 操作ガイドに「**緑** 表示モード切換」が表示される場合、動画再生リストの表示モード切換ができます。
- 「タブ表示」にしたときのリスト画面の表示切換操作については、**32**の手順**2**をご覧ください。

- 5** 動画再生を終了するには、**停止**または**終了**を押す

- 放送画面などに戻ります。



- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順**5**で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。

動画再生時にできるリモコン操作

- 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「ワンタッチスキップ/ワンタッチリプレイの時間を変更する」**[33]**で変更することができます。



ボタン	内容
	動画の再生を開始します。 ● 再生中に繰り返し押し続けると、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ※ 動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
	再生中に押し続けると一時停止になります。 ● 一時停止中にもう一度押し続けると、再生が再開されます。
	動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生、または連続コマ送りになります。スロー再生または連続コマ送り中に押し続けると、押すたびに速さが変わります(2段階または3段階(再生する動画のある機器によって異なります))。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。
	再生中に押し続けると、20ポイントに分割された動画の前後のポイントへスキップします。 ● 再生時間が短い動画では動作しないことがあります。
	再生中に押し続けると、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中に押し続けると、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	次の動画の先頭にスキップして再生します。
	現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。
	再生中に押し続けると、動画再生のリスト画面が表示されます。

※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

- 1 動画再生リストの表示中に **[サブメニュー]** を押す
- 2 ▲・▼で「再生設定」を選び、**[決定]** を押す
- 3 ▲・▼で以下から選び、**[決定]** を押す
 - 1コンテンツリピート…選択した一つの動画の再生を繰り返します()
 - リピート……………フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します()
 - オフ……………繰り返し再生をしません。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

- 1 再生中に **[サブメニュー]** を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで **[決定]** を押す
 - 画面右上に **サーチ** が表示されます。
- 2 **[1]** ~ **[10]** (0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき **[10]** (0) **[1]** **[2]** **[5]** **[10]** (0) **[5]** の順に押します。

動画を並べ替える

- 機器によっては並べ替えができないことがあります。

- 1 動画再生リストの表示中に **[サブメニュー]** を押す
- 2 ▲・▼で「並べ替え」を選び、**[決定]** を押す
- 3 ▲・▼で「新しい順」または「古い順」を選び、**[決定]** を押す

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すときは、**[青]** を押します。動画再生リストのときに **[サブメニュー]** を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで **[決定]** を押し、機器の情報を確認できます。

動画再生リストの操作ガイドについて

- 機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。
 - **[赤]** 削除
「不要な録画番組を消す」**[37]**を参考にしてください。
 - **[緑]** 表示モード切換
「表示モード切換ができるとき」**[50]**をご覧ください。

写真を再生する

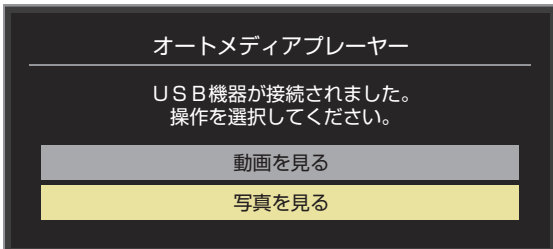
- USB機器に保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、「USB機器を接続する」**49**をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては、**81**をご覧ください。



- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが損なわれることがあります。

写真再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「写真を見る」を選んで**決定**を押し、手順**3**から操作します。



- 「オートメディアプレーヤー」または、以下の手順**1**または手順**2**の操作で写真再生が起動すると、「写真再生」のマルチ表示画面になります(図はUSB機器の例です)。



1 **サブメニュー**を押し、▲・▼と**決定**で「メディアプレーヤー」⇒「写真」の順に進む

2 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押し

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。

3 以下の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する(シングル再生)

- ① マルチ表示画面から、見たい写真を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押し

- 選択した写真が画面に拡大表示されます。



- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- ◀◀ (戻る) ・ ▶▶ (進む) で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- マルチ表示画面に戻るときは**戻る**を押します。

自動的に順番に表示する(スライドショー再生)

- ① **緑**を押す

- 選択中の写真から順番に表示されます。



- スライドショー再生を一時停止するには**青**を押します。もう一度**青**を押すと再開されます。
- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- ◀◀ (戻る) ・ ▶▶ (進む) で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- シングル再生に戻るときは**緑**を押します。
- マルチ表示に戻るときは**黄**を押します。



- 写真の表示中は、音声出力(固定/可変)端子から音声信号は出力されません。
- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。

写真を回転させるには

- マルチ表示画面、シングル再生画面、スライドショー再生画面で写真を回転させることができます。

1 赤 を押す

- 赤 を押すたびに時計回りに90度ずつ回転させることができます。
- 回転させた状態は記憶されません。

写真だけを表示するには

- シングル再生画面、スライドショー再生画面に表示された写真以外の情報を消すことができます。

1 画面表示 を押す

- もう一度 画面表示 を押すと情報が表示されます。

4 写真再生を終了するときは、 終了 を押す

マルチ表示画面の表示モードを切り換える

- マルチ表示画面の表示モードを切り換えることができます。

1 マルチ表示画面のときに 黄 を押す

- 黄 を押すごとに以下の「シームレス」または「フォルダ別」に切り換わります。
 - シームレス ……第1階層にあるDCIMフォルダや、その中にある第6階層までのフォルダに保存されている写真だけが最大1000枚まで表示されます(シームレス表示で写真が見つからないときは、自動でフォルダ別表示に切り換えます)。
 - フォルダ別 ……写真および、同じ階層にあるフォルダが合計1000まで表示されます。

表示モード



フォルダを開くには

- 「フォルダ別」の表示モードのときに、フォルダを開くには以下の操作をします。

1 ▲・▼・◀・▶でフォルダを選び、決定 を押す

- 上の階層に戻るときは 戻る を押します。

再生を繰り返す

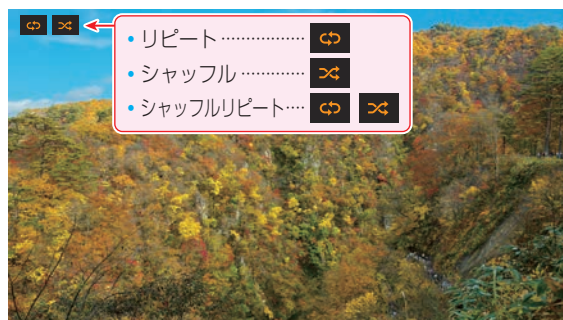
- シングル再生やスライドショー再生を繰り返すことができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示、シングル再生、またはスライドショー再生画面のときに サブメニュー を押す

2 ▲・▼で「再生設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で以下から選び、決定 を押す

- リピート ……フォルダ内にあるすべての写真の連続再生を繰り返します。
 - シャッフル ……フォルダ内のすべての写真をランダム順に再生します。
 - シャッフルリピート ……ランダム再生を繰り返します。
 - オフ ……繰り返し再生やランダム順再生をしません。
- 設定に従って、再生画面やマルチ画面にアイコンが表示されます。



スライドショーの表示間隔の設定をする

- 写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。表示が完了するまでの時間は、写真のファイルサイズによって異なります。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示画面またはスライドショー再生画面のときに サブメニュー を押す

2 ▲・▼で「間隔設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で以下から選び、決定 を押す


- 以下は目安です。
 - 速い ……表示が完了してから約5秒後
 - 標準 ……表示が完了してから約10秒後
 - 遅い ……表示が完了してから約30秒後

写真を再生する つづき





マルチ表示画面の写真の並び順を変える

- 表示モードが「フォルダ別」のマルチ表示画面で、写真の並び替えができます。
- 機器によっては、並び替えができないことがあります。

1 マルチ表示画面のときに を押す

-  を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- フォルダが先に並び、次に写真が並びます。

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すには、マルチ表示のときに  を押し、▲・▼で「機器選択」を選んで  を押します。
 - マルチ表示のときに  を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで  を押すと、機器の情報を確認できます。
- ※ 機器によっては、「機器選択」の選択画面に表示されないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。
- 機器の接続については、製品同梱の取扱説明書の「インターネットを利用するための接続をする」をご覧ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「通信設定」⇒「詳細設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで、**決定** を押す



3 以降の手順で設定する

アドレス設定(IPv4)

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

1 IPアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、**決定** を押す

アドレス設定 (IPv4)	
IPアドレス	自動取得
アドレス	● ● ● ●
サブネットマスク	● ● ● ●
デフォルトゲートウェイ	● ● ● ●
DNSアドレス	自動取得
プライマリアドレス	● ● ● ●
セカンダリアドレス	● ● ● ●
プロキシサーバー	使用しない
サーバー名	
ポート番号	
設定完了	

自動取得できないネットワーク環境の場合

- 1 ▲・▼で「手動設定」を選び、**決定** を押す
- 2 ▲・▼で「アドレス」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
- 3 ▲・▼で「サブネットマスク」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
- 4 ▲・▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
 - ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。

2 ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定** を押す

DNSアドレス

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。
- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

1 DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、**決定** を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

- 1 ▲・▼で「手動設定」を選び、**決定** を押す
- 2 ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
- 3 ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、**1**～**10**₍₀₎で入力する
 - ②と③では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。

2 ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定** を押す

プロキシサーバー

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

1 ▲・▼で「使用する」を選び、**決定** を押す

2 ▲・▼で「サーバー名」を選び、**決定** を押す

3 サーバー名を入力する

- 文字入力の方法は、**773** をご覧ください。
- 入力できる文字は半角英字/半角数字で、記号は半角の! "#%&()*+,-;:<=>@[¥]^`{|}~?/_/です。

4 ▲・▼で「ポート番号」を選び、**1**～**10**₍₀₎でポート番号を入力する

5 ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定** を押す

インターネットを利用するための設定をする っつき

IPv6接続

- IPv6アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。
- ※ ルーターのIPv6パススルー (IPv6ブリッジ)を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつながパソコンは、正しくアクセス制限の設定を行い、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

- ① ▲・▼で「利用する」または「利用しない」を選んで、決定を押す

アドレス設定(IPv6)

- IPv6で接続するとき、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定した場合は、IPv6ステートレスアドレス自動設定方式によりIPアドレスを取得したあと、DHCPv6によりDNSアドレスを取得します。
- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① IPアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、決定を押す

アドレス設定 (IPv6)

IPアドレス
アドレス
デフォルトゲートウェイ
プレフィックス長

DNSアドレス
プライマリアドレス
セカンダリアドレス

自動取得

自動取得

設定完了

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す
- ② ▲・▼で「アドレス」を選び、1～10⁽⁰⁾、11^(a～c)、12^(d～f)で入力する
- ③ ▲・▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1～10⁽⁰⁾、11^(a～c)、12^(d～f)で入力する
- ④ ▲・▼で「プレフィックス長」を選び、1～10⁽⁰⁾で入力する
 - ②、③では0～9、a～fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
 - ④では1～127の範囲の数字を入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。
- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

DNSアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す
- ② ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、1～10⁽⁰⁾、11^(a～c)、12^(d～f)で入力する
- ③ ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、1～10⁽⁰⁾、11^(a～c)、12^(d～f)で入力する
 - ②と③では0～9、a～fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。
- ② ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

ネットワーク情報

- 1 設定を押し、▲・▼と決定で「通信設定」⇒「ネットワーク情報」を選び、決定を押す

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
- ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

接続テスト

- 1 設定を押し、▲・▼と決定で「通信設定」⇒「接続テスト」を選び、決定を押す

- 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで決定を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで決定を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - ① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する
 - 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。
 - ② ネットワーク環境の接続確認
 - 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。
 - ① パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorerなど)を起動する
 - ② URL欄に「www.toshiba.co.jp/regza/」を入力し、ページが表示されることを確認する
 - ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。
- 接続テストの結果で「IPv6接続のご利用について」が表示された場合
 - 「アドレス設定(IPv6)」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
 - ルーターのIPv6設定が有効かご確認ください。上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。
 - ※ IPv6接続でネットワーク接続をご利用にならない場合は、「IPv6接続」を「利用しない」に変更してください。

ネットワークに関するお知らせ・用語



■ アドレス設定(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、アドレス設定(IPv4)のIPアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は「55」をご覧ください)。
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■ アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は「55」をご覧ください)。
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、アドレス設定(IPv4)のDNSアドレスを「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。



■ アドレス(IPv4)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例: 111.112.xxx.xxx)。

■ アドレス(IPv6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa～fまでのアルファベット8組を「:」で区切った形式で表現されます(例: 1111:ABCD:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(www.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSサーバーのアドレスを「プライマリアドレス」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリアドレス」に入力します。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例: 255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例: proxy.xxx.xxx.xxx)。この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

■ MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

お好みの映像メニューを選ぶ

- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生の映像や各入力端子・写真再生の映像、信号特性などでそれぞれ記憶させることができます。
- ※ HDR信号を受信しているときは、映像設定はHDR信号にあわせた画質に設定されます。その場合、映像設定に **HDR** のアイコンが表示されます。

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「映像設定」⇒「映像メニュー」の順に進む

映像設定 (放送/再生用)	
映像メニュー	標準
バックライト	30
映像調整	>
フレーム間補正	オフ
低遅延モード	オフ

2 お好みの映像メニューを▲・▼で選び、決定 を押す

- 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。

映像メニュー
あざやか
標準
ゲーム

映像メニュー	内容
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です(HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます)。

お好みの映像に調整する

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「映像設定」⇒「映像調整」の順に進む

映像設定 (放送/再生用)	
映像メニュー	標準
バックライト	30
映像調整	>
フレーム間補正	オフ
低遅延モード	オフ

2 調整する項目を▲・▼で選び、決定 を押す

黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
精細感・ノイズ調整	>
コントラスト感調整	>
色詳細調整	>
映像調整を初期値に戻す	>

3 以降の手順(60頁まで)でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します(「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲・▼を押せば調整項目を切り換えることができます)。

「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「:メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「標準:メモリー」と(HDMI1)の「標準:メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

「:メモリー」が表示されます。

映像設定 (放送/再生用)	
映像メニュー	標準:メモリー
バックライト	30
映像調整	>
フレーム間補正	オフ
低遅延モード	オフ

黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。
- ① ◀▶でお好みの明るさに調整し、**決定**を押す
 - 「-50」(暗)~「+50」(明)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。
- ① ◀▶でお好みの濃さに調整し、**決定**を押す
 - 「-50」(淡)~「+50」(濃)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色あいを調整します。
- ① ◀▶でお好みの色あいに調整し、**決定**を押す
 - 「-50」(紫)~「+50」(緑)の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

- 「精細感・ノイズ調整」を選択して**決定**を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。
- ① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

シャープネス	0
MPEG NR	オート
ダイナミックNR	オート

- ② 以降の手順で調整する
 - 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。
- ① ◀▶でお好みの映像に調整し、**決定**を押す
 - 「-50」~「+50」の範囲で調整できます。

MPEG (エムペグ) NR

- デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。
- ※ 「映像メニュー」が「ゲーム」以外のときに設定できます。

- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - オート……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
 - 手動……手動で調整します。

「手動」にしたとき

- ① ◀▶で調整し、**決定**を押す
 - 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

ダイナミックNR

- 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。
- ※ 「映像メニュー」が「ゲーム」以外のときに設定できます。

- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - オート……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
 - 手動……手動で調整します。

「手動」にしたとき

- ① ◀▶で調整し、**決定**を押す
 - 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。
 - ※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

コントラスト感調整

- 「コントラスト感調整」を選択して**決定**を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。
- ① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す
 - 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

コントラスト	0
アクティブバックライト制御	オン
ガンマ調整	0

- ② 以降の手順で調整する
 - 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

コントラスト

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。
- ① ◀▶でお好みの映像に調整し、**決定**を押す
 - 「-50」~「+50」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)。

アクティブバックライト制御

- 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - オン……ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。
 - オフ……この機能は働きません。

ガンマ調整

- 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。
- ① ◀▶で調整し、**決定**を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
-10 ~ +10	

お好みの映像に調整する つづき

色詳細調整

- 「色詳細調整」を選択して **決定** を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。

1 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

色温度	0
-----	---

2 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順1から繰り返します。

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

1 ◀▶で調整し、**決定**を押す

- 「0」～「10」の範囲で調整できます。調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
- **青** を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。

▲・▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀▶で調整する

- 明るい部分の色温度を微調整します。

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
-30 ~ +30	

その他の映像設定

- 「映像設定」のメニューに表示されている「バックライト」、「フレーム間補正」、「低遅延モード」は、項目を選択してから以下の手順で設定します。

映像設定 (放送/再生用)	
映像メニュー	標準
バックライト	30
映像調整	>
フレーム間補正	オフ
低遅延モード	オフ

バックライト

- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

1 ◀▶でお好みの明るさに調整し、**決定**を押す

- 「0」～「100」の範囲で調整できます(調整値が大きくなるほど画面が明るくなります)。

フレーム間補正

- 映画やアニメなどコマ数が少ない映像に対し、なめらかな動きで映像を表示する機能です。

※ 映像メニューが「ゲーム」以外のときに設定できます。

1 ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- 強 …… 映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。
- 弱 …… 映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。
- オフ …… 元の入力映像をそのまま表示します。

低遅延モード

- 画像処理による表示の遅延時間を短縮します。

※ 「低遅延モード」は、外部入力(HDMI)のときに設定できます。

1 ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オン …… 低遅延モード機能が働きます。
- オフ …… この機能は働きません。

映像調整を初期値に戻す

- 「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「映像設定」⇒「映像調整」⇒「映像調整を初期値に戻す」の順に進む

2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生の音声、各外部入力端子の音声、音楽再生の音声でそれぞれ記憶させることができます。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外の場合は、「音声メニュー」は「—」と表示され、操作できません。

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「音声設定」⇒「音声メニュー」の順に進む

音声設定 (放送/再生用)	
音声メニュー	ダイナミック
低音強調	弱
イコライザー	>
サラウンド	オフ
オートボリューム	オフ
左右バランス	中央
ドルビーDRC	—
音声出力詳細設定	

2 お好みの音声メニューを◀▶で選ぶ

音声メニュー	映画 <ダイナミック> 標準
低音強調	弱
イコライザー	>
サラウンド	オフ
オートボリューム	オフ

音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。

音声メニュー	内容
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。

- ▲・▼で、低音強調画面やイコライザー画面に移行できます。

お好みの音声に調整する

1 設定 を押し、▲・▼で「音声設定」を選んで決定 を押す

2 ▲・▼で調整したい項目を選んで決定 を押す

3 以下の手順でお好みの音声に調整する

音声を調整した場合

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整・設定状態が記憶され、「音声メニュー」の表示に「:メモリー」が加わります。
- 調整・設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「ダイナミック:メモリー」と(HDMI1)の「ダイナミック:メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

低音強調

- 低音の強さを調整します。

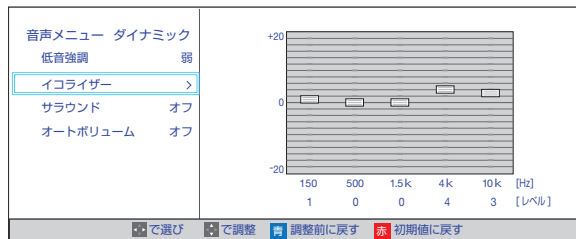
1 ◀▶でお好みの設定を選ぶ

- 強/弱……………低音をお好みの強さに調整します。
- オフ……………この機能は動きません。

イコライザー

- イコライザーで音質をより詳細に調整できます。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外の場合は、「イコライザー」は「—」と表示され、操作できません。

1 調整する音域を◀▶で選び、▲・▼でレベルを変える



- 調整前の音に戻すには、青 を押します。
- お買い上げ時の調整に戻すには、赤 を押します。

お好みの音声に調整する つづき

サラウンド

- ステレオ音声に、広がりを持たせます。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「サラウンド」は「—」と表示され、操作できません。

※ 音声多重放送の視聴時に、「主」または「副」**[18]** を選んでいる場合は、効果が得られません。

1 ◀▶でお好みの設定を選び、決定を押す

- **ライブ** …………… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- **シネマ** …………… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。
- **オフ** …………… この機能は働きません。

オートボリューム

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「オートボリューム」は「—」と表示され、操作できません。

1 ◀▶で以下から選び、決定を押す

- **オン** … オートボリュームの機能が働きます。
- **オフ** … この機能は働きません。

左右バランス

- スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「左右バランス」は「—」と表示され、操作できません。

1 ◀▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

ドルビー DRC

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- HDMI入力端子に接続した機器から、ドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスで記録されたコンテンツが入力された場合にだけ機能します(機器からドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください)。

1 ▲▼で以下から選び、決定を押す

- **強** …… 音声レベルの補正効果が強く働きます。
- **弱** …… 音声レベルの補正効果が弱く働きます。

音声出力詳細設定

- スピーカーや音声出力端子から出力する音声の詳細を設定できます。

1 調整する項目を▲▼で選び、決定を押す

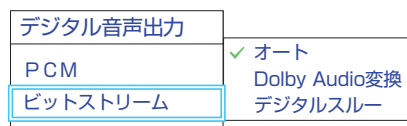
2 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順1から繰り返します。

デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1 (ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

1 ▲▼で信号を選び、決定を押す



- **PCM** …………… 常にリニアPCM信号が出力されます。オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。
- **オート** …………… 信号が自動で出力されます。
- **Dolby Audio変換** …… Dolby信号に変換して出力します。
- **デジタルスルー** …… AACやDolby信号がそのまま出力されます。



- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、デジタル音声出力設定を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。



- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1 (ARC)端子から出力されないことがあります。
- 外部入力としてビデオ入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子およびHDMI入力1 (ARC)端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1 (ARC)端子から信号は出力されません(HDMI入力端子が対応している音声信号については、**[81]**をご覧ください)。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力1(ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。
- ① ◀▶でお好みのタイミングに調整し、**決定**を押す
- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。



- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」を選択している場合は、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。
- 設定の「音声設定」⇒「音声出力詳細設定」⇒「ヘッドホン／音声出力設定」を[音声出力]に設定し、サブメニューの「スピーカー切替」を「音声出力」に選択した場合は、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン／音声出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子の設定をします。
- ① ▲▼で「ヘッドホン／音声出力設定」を選び、**決定**を押す
- 以下、「出力設定」、「ヘッドホン出力設定」、「音声出力設定」を設定します。

出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。
- ※ ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン」に設定してください。

- ① ▲▼で以下から選び、**決定**を押す

- **ヘッドホン**：
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。
- **外部スピーカー**：
ヘッドホン／音声出力端子にAVアンプやミニコンポなどを接続する場合に選択します。

ヘッドホン出力設定

- 「出力設定」で「ヘッドホン」を選んだときに設定します。
- ① ▲▼で以下から選び、**決定**を押す
- **通常モード**…… ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
- **親切モード**…… ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。

音声出力設定

- 「出力設定」で「音声出力」を選んだときに設定します。
- ① ▲▼で以下から選び、**決定**を押す
- **固定**…… ヘッドホン／音声出力端子から一定の音量レベルで音声が出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。
- **可変**…… ヘッドホン／音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調節することができます。

アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

- テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

地上デジタル用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む



- 2 ▲・▼で「伝送チャンネル」を選び、**決定** を押す

- 3 ▲・▼でチャンネルを選び、**決定** を押す

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます(お買い上げの販売店などにお聞きください)。
- 信号強度(○印の数値)が推奨範囲内になっているか、信号品質(○印の数値)が推奨の数値以上になっているかを確認します。

推奨範囲の数値になっているか、確認します。

例 地上デジタルアンテナ設定

地上デジタルアッテネーター オン

伝送チャンネル UHF

受信中のチャンネル ■ 地デジ 001 NHK総合1・東京

推奨 30~65 NHK総合・東京

信号強度 現在 55 (最大 66)

低 30 65 高

推奨 43以上

信号品質 現在 66 (最大 66)

低 43 高

受信状態は、良好です。

推奨以上の数値になっているか、確認します。

BS・110度CS用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

- 2 **BS** または **CS** で放送の種類を選ぶ

- 3 **秘制** でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

BS・110度CS 4K放送用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS/CS 4K設定」⇒「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む

- 2 **秘制** でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。



- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)。

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。
- ※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、**決定**を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

- 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を「オン」にします。
- お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

1 **設定** を押し、**▲・▼**と**決定**で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

地上デジタルアンテナ設定	>
地上デジタルスキャン設定	>

2 **▲・▼**で「地上デジタルアッテネーター」を選び、**決定**を押す

3 **▲・▼**で「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押す

- ※ 「オン」または「オフ」に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「オート」に設定されています。マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

1 **設定** を押し、**▲・▼**と**決定**で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

放送受信設定	
地上デジタル設定	>
BS・110度CSアンテナ設定	>
BS/CS 4K設定	>
リモコンボタン設定	>
データ放送設定	>
ACASチップ情報	>

2 **▲・▼**で「衛星アンテナ電源供給」を選び、**決定**を押す

3 **▲・▼**で「する」、「しない」または「オート」を選び、**決定**を押す

- する：
本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。
- しない：
アンテナに電源を供給しません。
- オート：
必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わります。

① アンテナ線がショートしています。
アンテナ線の接続を確認してください。
コード：E209



- 「衛星アンテナ電源供給」を「オート」に設定している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません(BS・110度CSデジタル放送録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります)。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

- 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
 - 初期スキャン……「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
 - 再スキャン……放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
 - 自動スキャン……本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。
- ※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン(1~12)に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「初期スキャン」の順に進む

2 お住まいの地方を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す

3 お住まいの都道府県または地域を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す

再スキャンをするとき

- 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

- お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを「しない」に設定してください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「自動スキャン」の順に進む

2 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定** を押す

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みに、リモコンのワンタッチ選局ボタン(1~12)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、前ページの「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。






2 設定するデジタル放送の種類を▲・▼で選び、決定を押す

3 設定するボタン(1~12)の番号を▲・▼で選び、決定を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

例 チャンネルボタン設定 地上デジタル


変更したいチャンネルを選んでください。

リモコン	チャンネル
1	011  NHK総合・東京
2	021  NHKEテレ東京
3	031  t v k
4	041  日本テレビ
5	051  テレビ朝日
6	061  TBS
7	071  テレビ東京
8	081  フジテレビジョン
9	091  TOKYO MX
10	031  テレ玉
11	---
12	ワンタッチ選局ボタンの番号

- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。
グループのA、B(BSデジタル放送、BS・110度CS 4K放送)、A~F(110度CSデジタル放送)は選局ガイドのグループになります。
グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4 ▲・▼で受信チャンネルを選び、決定を押す 110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順2、3で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。

- 1 手順2で、「110度CS」を選び、決定を押す
 - 2 チャンネルボタン設定画面(手順3)で  を押す
 - 3 ▲・▼で登録したいチャンネルを選び、決定を押す
- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
 - ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

お知らせ

- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。
- BS・110度CS 4K放送のAグループの「チャンネルボタン設定」をユーザーが変更していない場合、放送局からの情報に従って、チャンネルボタン設定の内容が更新される場合があります(「チャンネルボタン設定」の設定内容をユーザーが変更した場合は、放送局からの情報が更新されても、チャンネルボタンの設定内容は更新されません。)

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき つづき

視聴しないチャンネルをスキップする

- **移動** で選局するとき、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは番組表 **11** に表示されません。また、番組検索 **15** の対象になりません。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を▲・▼で選び、**決定** を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲・▼で選び、**決定** を押す

例 チャンネルスキップ設定 地上デジタル

チャンネル	スキップ
011 NHK総合1・東京	しない
012 NHK総合2・東京	しない
021 NHKEテレ1東京	しない
022 NHKEテレ2東京	しない
023 NHKEテレ3東京	しない
031 t v k 1	しない
032 t v k 2	しない
033 t v k 3	しない
041 日テレ1	する
042 日テレ2	する
051 テレビ朝日	する
052 テレビ朝日	しない

手順2で「地上デジタル」を選んだ場合

- **決定** を押すたびに「する」⇔「しない」と交互に切り替わります。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順3の操作を繰り返します(違う放送のチャンネルを設定する場合は **戻る** を押し、手順2からの操作を繰り返します)。



● チャンネルスキップ設定について

- 放送局の代表チャンネルを「する」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「する」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。
- お買い上げ時には、BS/CS 4K放送の102チャンネルはスキップ「する」に設定されています。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「はじめての設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「地域設定」の順に進む
- 2 該当する地方を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す
 - 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。
- 3 該当する地域を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す
 - 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
 - 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「郵便番号」の順に進む
 - 郵便番号の入力画面が表示されます。
- 2 お住まいの地域の郵便番号を **1** ~ **10** (0) で入力し、**決定** を押す
 - 上3ケタを入力して **決定** を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例 郵便番号

お住まいの地域の郵便番号を入力してください。

1	0	5	-	0	0	2	3
---	---	---	---	---	---	---	---

お知らせ

- 郵便番号と地域の設定について
 - データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。
- 文字スーパー表示の設定について
 - 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
 - 「しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

用語

- ルート証明書
サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書を基にして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー表示」の順に進む
 - 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。
 - 2 ▲・▼で「する」を選び、**決定** を押す
- ## 文字スーパーの言語を設定する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー言語」の順に進む
 - 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。
- 2 優先する言語を ▲・▼・◀・▶ で選び、**決定** を押す

文字スーパー言語		
優先して表示する言語を選んでください。		
日本語	英語	ドイツ語
フランス語	イタリア語	ロシア語
中国語	韓国語	スペイン語


ルート証明書の番号を確認する

- 地上デジタル放送/BSデジタル放送/110度CSデジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
- このルート証明書は放送電波で送られます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「ルート証明書番号」の順に進む
 - ルート証明書番号のリストが表示されます。
- 2 ルート証明書番号を確認し、**決定** を押す

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときに必要なです。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「すべての初期化」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。



- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。
- ※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号設定」の順に進む

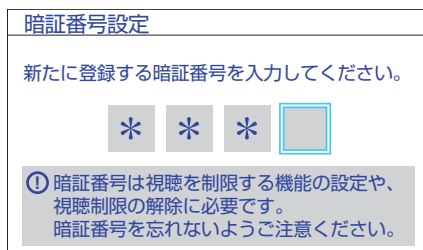
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を **1** ~ **10**₍₀₎ で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を **1** ~ **10**₍₀₎ で入力する

- 間違えて入力した場合は、◀ を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「*」で表示されます。



重要
登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 **1** ~ **10**₍₀₎ でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で **決定** を押す

暗証番号を削除するとき

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号削除」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **1** ~ **10**₍₀₎ で暗証番号を入力する

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されています。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

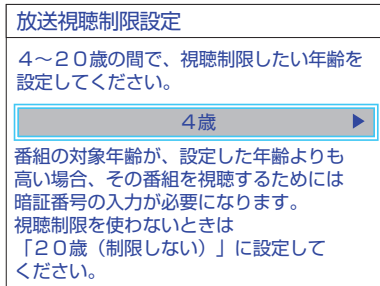
1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **1** ~ **10**₍₀₎ で暗証番号を入力する

3 ◀▶で年齢を設定し、**決定** を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。



- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

■ 番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- **決定** を押し、**1** ~ **10**₍₀₎ で暗証番号を入力します。

■ 視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- **決定** を押し、設定が必要な項目を設定します。

リモコンの設定を変更する

使わない放送選択ボタンの操作を無効にする

- リモコンの放送選択ボタン **地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K** のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 **設定** を押し、**▲・▼** と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「リモコン設定」⇒「操作無効設定」の順に進む

2 **▲・▼** でボタンを選び、**決定** を押す

地上デジタル	有効	有効
BS	有効	無効
110度CS	有効	
BS/CS 4K	有効	

3 **▲・▼** で「有効」または「無効」を選び、**決定** を押す

お買い上げ時の設定に戻すには (設定内容を初期化するには)

- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻します。
- 本機に設定されたすべての内容がお買い上げ時の状態に戻ります。
- ※ データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合に行ってください。

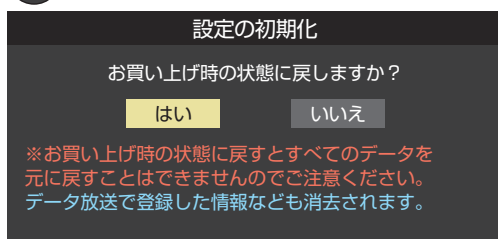


※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「その他の設定」⇒「設定の初期化」の順に進む

その他の設定	
視聴制限設定	>
外部入力・HDMI 連動設定	>
詳細機能設定	>
ソフトウェアのダウンロード	>
本機の情報	>
ソフトウェアのライセンス情報	>
設定の初期化	>

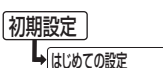
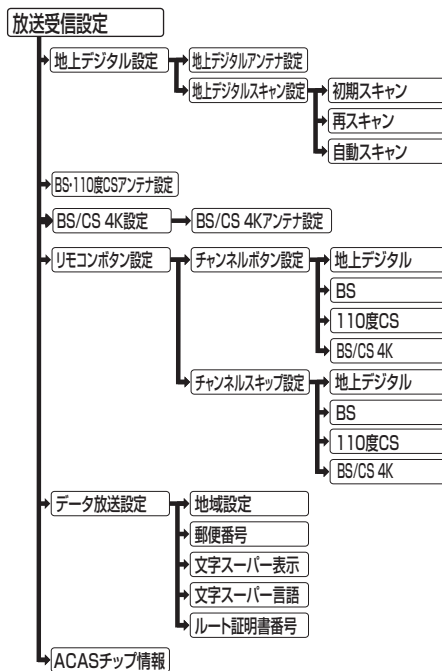
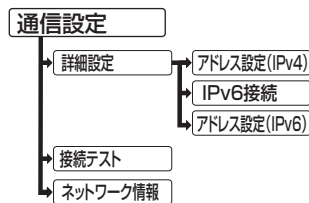
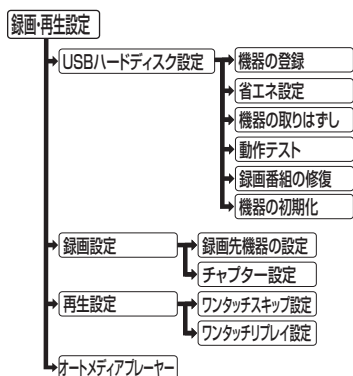
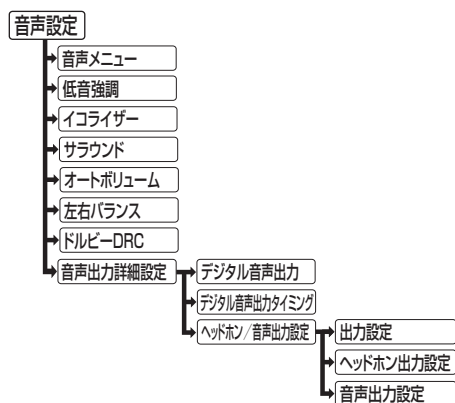
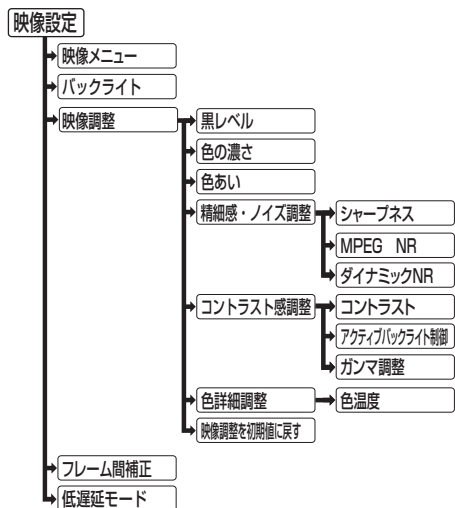
2 初期化する場合は◀▶で「はい」を選び、決定 を押し



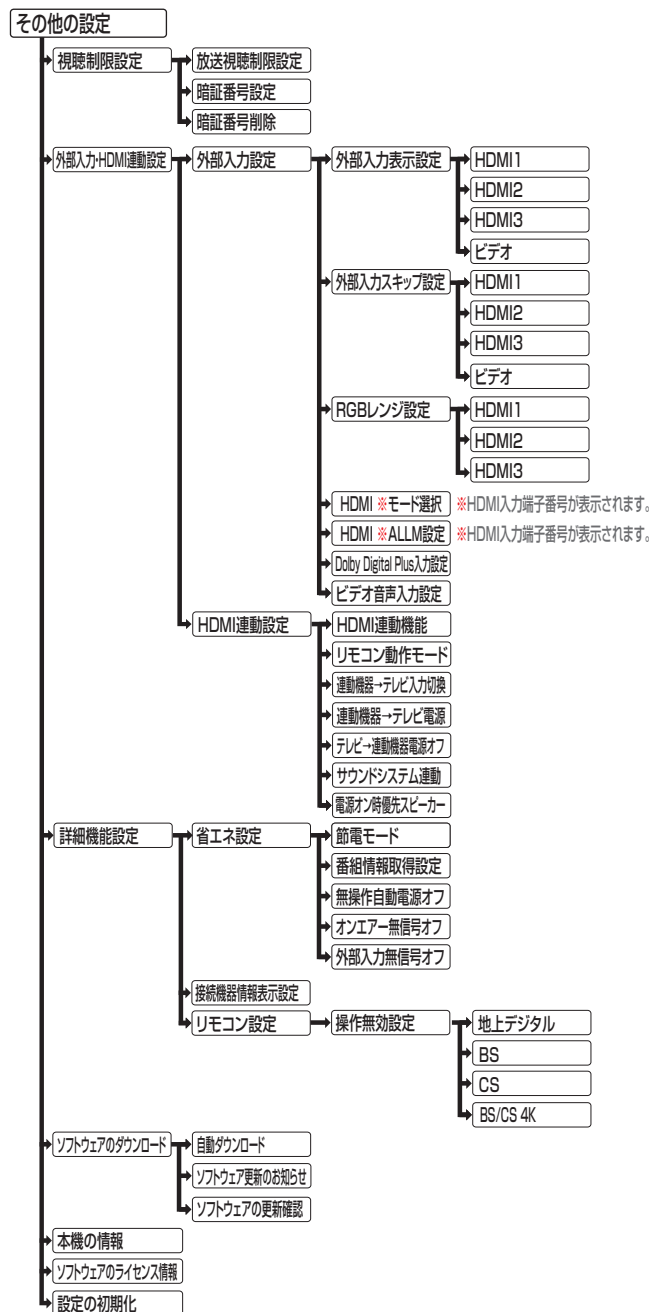
3 初期化終了の画面が表示されたら、電源を切る

設定メニュー一覧

- 設定メニュー一覧を下图に示します。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。
- 「映像設定」のメニューは、「映像メニュー」で「標準」を選んでいる場合の内容です。
- 「音声設定」のメニューは、「音声メニュー」で「標準」を選んでいる場合の内容です。



設定メニュー一覧 つづき



設定・調整をする

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>)でお知らせしています。
 - ・ 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
 - ・ ソフトウェアの更新中は「電源」表示が緑色と赤色に交互に点灯します。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。
更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します(情報を確認する操作はありません)。
放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

用語

- **ダウンロード**
放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

自動ダウンロードの設定を変更する

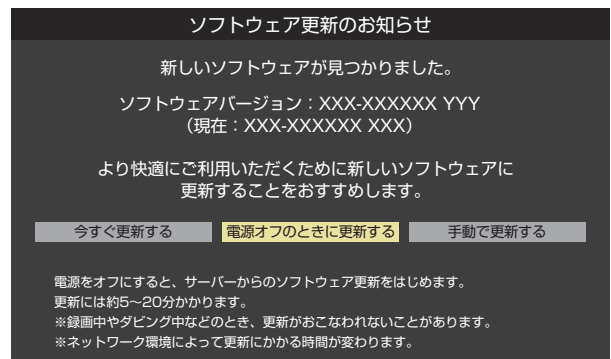
1 **設定** を押し、▲▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「自動ダウンロード」の順に進む

2 ◀▶ で「する」または「しない」を選び、**決定** を押し

- **決定** を押し、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 「しない」を選んだときは、「ソフトウェア更新のお知らせ」の設定が「表示する」に自動的に変更されます。また、手動でソフトウェアの更新をすることもできます。**76**

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を「しない」に設定し、「ソフトウェア更新のお知らせ」が「表示する」に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



- ◀▶ で以下のどれかを選び、**決定** を押しします。
 - **今すぐ更新する** ……ソフトウェアの更新を始めます。
 - **電源オフのときに更新する** ……本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
 - **手動で更新する** ……ソフトウェアの更新は始めません。「東芝サーバーから手動でダウンロードする」**76** の操作でソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェアを更新する つづき

ソフトウェア更新のお知らせ画面を表示させないようにする

- ソフトウェア更新のお知らせ画面は、以下の操作で表示させないようにすることもできます。
- 1 **設定** ⇒ 「その他の設定」 ⇒ 「ソフトウェアのダウンロード」 ⇒ 「ソフトウェア更新のお知らせ」の順に進む
- 2 ▲・▼で「表示しない」を選び、**決定**を押す
 - 上記の操作で「表示する」を選ぶと、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されるようになります。
 - 「自動ダウンロード」を「する」に設定している場合、「ソフトウェア更新のお知らせ」は「しない」に設定され、変更することはできません。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

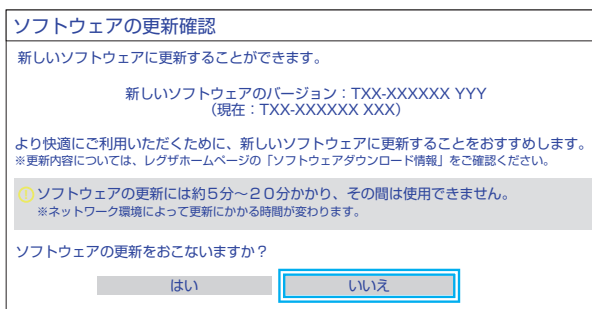
- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「本機の情報」の順に進む
 - **設定** ⇒ 「その他の設定」⇒「本機の情報」でも確認できます。

東芝サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定 **55** 頁 ~ **57** 頁が必要です。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのまま終了するまでお待ちください。
- 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

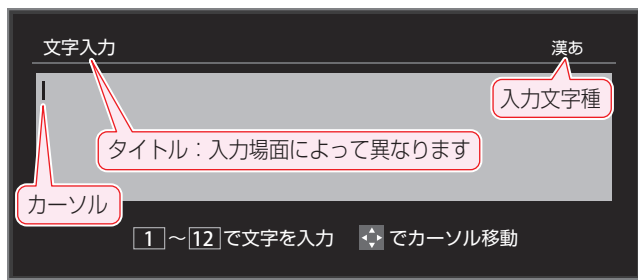


東芝サーバーからのダウンロードについて

- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

文字を入力する

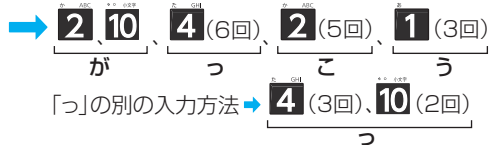
- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 1~12で文字を入力する

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう



- 文字に続けて「10」を押せば、濁点(゜)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい → 1、▶、1(2回)



- 入力文字の種類を変えるときは、[文字切替] (文字切替) を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を▲・▼・◀・▶で選んで入力します。
- スペースを入力するときは、[緑] (緑) を押します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、[赤] (赤) を短く押します。カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、[赤] (赤) を押し続けます。カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、[決定] (決定) を押す
- 漢字に変換するときは、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら[決定] (決定) を押す
 - 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀▶で変え、▲▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、[決定] (決定) を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

文字切替(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ →か→け	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →つ	タ→チ→ツ→テ→ト →ツ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10	°→°→小文字変換	°→°→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ→、→。 →、	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。 →、	* 1	*
12	* 2 逆方向へ入力	* 2 逆方向へ入力	* 2 逆方向へ入力	#

- 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。
- * 1 全角英字の場合…… → / → : → → → → → → → @
半角英字の場合…… → / → : → → → → → → → @
- * 2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻ります。

お知らせ

- 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景 / 未確定の文字：白色背景 / 漢字変換候補選択中の文字：黒色背景 / 確定した文字：背景なし
- 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に戻るを押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	ステレオ音声放送		視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
	サラウンドステレオ放送		有料放送で契約済のチャンネル。
	二重音声放送		有料放送で契約していないチャンネル。
	字幕放送		PPV (ペイ・パー・ビュー) 番組。○○は金額が入ります。
	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送		録画回数が制限されている番組
	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送		デジタル録画ができる番組
	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送		有料でデジタル録画ができる番組
	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送		デジタル録画ができない番組
	放送フォーマットが2160pの4K映像放送		光デジタル録音ができる番組
	放送フォーマットが4320pの8K映像放送		1回だけ光デジタル録音ができる番組
	複数の映像、または音声またはデータがある番組		有料で光デジタル録音ができる番組
			光デジタル録音ができない番組

● ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	録画予約		連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。
	連ドラ予約		視聴予約が重なったときに表示されます。
	視聴予約		録画番組が「保護」対象
	録画中		録画番組が「上書き」対象
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。		未読の「お知らせ」
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。		既読の「お知らせ」
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。		非リンク型サービス(通信番組) 

画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 画面の見えかたについては、次ページをご覧ください。
- 信号フォーマットについては、「本機で対応している HDMI入力信号フォーマット」[\[81\]](#)をご覧ください。

放送番組やビデオ入力端子からの映像や動画の再生をしているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4：3の映像(480p、480i)、映像入力端子	フル、ノーマル、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
デジタル放送の16：9の映像	フル、HDズーム、HDスーパーライブ <ul style="list-style-type: none"> ● 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 ● 電源入/切で「フル」に戻ります。
3840×2160p映像	4Kフル、4Kズーム

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	フル、ノーマル、ネイティブ、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
VGA、SVGA、XGA、SXGA	フル、ノーマル、ネイティブ、ズーム、スーパーライブ
720p、1080i、1080p、WXGA	フル、ノーマル、ネイティブ、HDズーム、HDスーパーライブ
WQHD	フル、Dot By Dot
3840×2160p	4Kフル、4Kズーム
4096×2160p	4Kフル、4Kノーマル、4Kズーム <ul style="list-style-type: none"> ● 「4Kズーム」は入力切替、電源入/切などで「4Kフル」に戻ります。

映像メニューを「ゲーム」にしているとき



















入力端子	信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
映像入力端子	480i	フル、ノーマル
HDMI入力端子	480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA	フル、ノーマル、ネイティブ
	1080p、1080i、720p	フル、ネイティブ
	WQHD	フル、Dot By Dot
	3840×2160p	4Kフル
	4096×2160p	4Kフル、4Kノーマル



- 本機は、各種の画面サイズのモード切替機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- 4:3の映像を「スーパーライブ」などを利用して画面いっぱいに表示させると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「ネイティブ」、「ノーマル」(16：9映像の場合は「フル」)でご覧になれます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切替機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面サイズについて つづき

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説明
4:3	スーパーライブ		4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックス「LB」)を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕		レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル		DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	HDスーパーライブ ^{※2}		左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	HDズーム ^{※2}		上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
ゲーム	フル		ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示するモードです。
	ノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです(図は4:3の例です)。
	ネイティブ		入力信号の1ドットを縦・横2ドットずつの4ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
HDMI	ネイティブ		入力信号の1ドットを縦・横2ドットずつの4ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
	Dot by Dot (WQHD)		入力信号の解像のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
4K 信号	4Kフル (3840×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
	4Kフル (4096×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです(左右が128画素ずつ切れた状態が表示されます)。
	4Kノーマル (4096×2160p)		4K信号の映像を画面に合わせて縮小して表示するモードです(上下の映像がない部分は黒く表示されます)。
	4Kズーム (3840×2160p)		上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。
	4Kズーム (4096×2160p)		上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。

※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。

※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。

※4 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。

※5 左側の図は画面サイズのモードを「4Kフル」にした場合の見えかたです。

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにだけ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があります、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
2160p	3840×2160	59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000kHz	593.407 / 594.000MHz	
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz	
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz	
2160p (SMPTE)	4096×2160	23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz	
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○
WQHD	2560×1440	60Hz	88.787kHz	241.500MHz	○

本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイルフォーマット	映像フォーマット	音声フォーマット	最大解像度(フレームレート)
USB機器	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、MPEG-1 Layer II	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
		H.264/MPEG4-AVC	AAC、ドルビーデジタル(AC3)	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
	MPEG2-TS	H.264/MPEG4-AVC	AAC、HE-AAC、ドルビーデジタル(AC3)	3840×2160 (24p)
				3840×2160 (25p)
				3840×2160 (30p)
	MPEG2-TS	HEVC	AAC、HE-AAC、ドルビーデジタル(AC3)	1920×1080 (60p)
				3840×2160 (24p)
				3840×2160 (25p)
				3840×2160 (30p)
	MP4	MPEG-4 Visual	AAC	3840×2160 (50p)
3840×2160 (60p)				
3840×2160 (60p)				
HEVC		AAC、HE-AAC	1920×1080 (60i)	
			1280×720 (60p)	
			3840×2160 (24p)	
H.264/MPEG4-AVC	AAC、HE-AAC、リニアPCM	3840×2160 (25p)		
		3840×2160 (30p)		
		3840×2160 (30p)		

- ※ 一部の動画は再生できないことがあります。特にMP4動画については、対応機器によっては再生できないことがあります。
- ※ 音声がついていない映像だけの動画は再生できません。
- ※ 対応機器の性能によっては、映像が乱れたり、雑音が出たりするなど、正常に再生できないことがあります。
- ※ リストに表示可能なファイルの最大数は1フォルダあたり3000です。
- ※ リストに表示可能なフォルダの最大数は2000です。

本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット

圧縮方式	JPEG準拠
フォーマット	Exif ver2.2準拠、JFIF ver1.02準拠
画素数	16384×16384ピクセル以内
ファイルサイズ	USB機器についてはファイルサイズ24MB以内

- ※ 一部の写真は再生できないことがあります。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。
- 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか。	● 電源プラグをコンセントに差し込みます。	—
「電源」表示が消えていませんか。	● 本体の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	同梱 21
「電源」表示が赤色に点滅していますか。	● 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	—
「電源」表示が赤色／緑色に交互に点滅していますか。	● ソフトウェアの更新を行っているため、「電源」表示の点滅が終わるのを待ってから操作してください。	—

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。	● 障害物を取り除きます。 リモコン受光部の位置は、右記のページでご確認ください。	同梱 20
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	● 新しい乾電池に交換します。	同梱 20
リモコンの乾電池の向き(+、-)が合っていますか。	● 向き(+、-)を確認し、正しく入れてください。	同梱 20
他のチャンネルでは、操作ができますか。	● データ放送のサービスに、リモコン操作が使用される場合があります。その場合、サブメニューの「データ放送終了」を選びます。	17
本体のボタンでは操作ができますか。	● 上記の対処をした上で、なおりリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	—

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	● アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	同梱 14
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	● 確認して、まっすぐにします(折らないようにご注意ください)。	—
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	● アンテナ線を交換します。	—
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	● アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 ● アンテナ線を分配して接続します。	—
電波が弱くありませんか。	● アンテナレベルを確認します。 ● アンテナの向きを調整してみます(販売店にご相談ください)。	64
アンテナ線の差し込みがゆるんでいたたり、接触不良になっていたりしていませんか。	● 確認して、しっかりと接続します。	同梱 14
アンテナ線(端子)がさびていませんか。	● 販売店にご相談ください。	—

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 確認して正しく接続します。 	同梱 16
機器の電源がはいっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 機器の電源を入れます。 	—
接続した機器の入力に切り換えましたか。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの入力切換で、外部機器を接続した入力端子を選びます。 	41
機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。 	42

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 明るい部屋では、「あざやか」を選択してみます。 「バックライト」で適切な明るさに調整します。 	58 60
一時停止や、静止画になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 動きの少ない映像の場合に、しばらくすると徐々に暗くなることがあります。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。 	—

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 お好みの映像に調整することもできます。 	58

音声

音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> + 音量 で音量を上げます。 	7
画面に 消音 マークが表示されていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 消音 を押すと消音を解除できます。 (+ 音量 でも解除されます)。 	7
「音声出力」になっていませんか。	サブメニューの「スピーカー切換」で「テレビスピーカー」に設定します。	20
機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。 	42

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> サブメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル表示」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。 	64
「初期スキャン」をしましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 「初期スキャン」をします。 	66
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ (http://www.apab.or.jp/) で確認することもできます。	—
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	<ul style="list-style-type: none"> CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)。 	—

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

症状に合わせて解決法を調べる つづき

BS・110度CSデジタル放送

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。 	同梱 14
有料放送ではありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 	—
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。 BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。 	同梱 15
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していないですか。	<ul style="list-style-type: none"> 左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声がかかることがあります。 	—
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。 	65

BS・110度CSの4K放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 分配器は「4K放送対応全端子通電型」のものを使用します。 	同梱 14
有料放送ではありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 	—
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。 BS・110度CSの4K放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。 	同梱 15
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していないですか。	<ul style="list-style-type: none"> 左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声がかかることがあります。 	—
左旋円偏波に対応した機器を使用していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 左旋円偏波に対応した機器をご使用ください。対応していない場合、一部のBS・110度CSの4K放送はご覧になれません。 	同梱 14
「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。 	65

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 「番組表を更新する」の操作をします。 	<p>—</p> <p>12</p>


番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
—	<ul style="list-style-type: none"> 番組表を表示中に  を押して、文字の大きさを変更することができます。 	<p>—</p> <p>13</p>

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にいませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。 	<p>—</p> <p>13</p>
「チャンネルスキップ設定」でスキップ「する」に設定していませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 「チャンネルスキップ設定」でスキップ「しない」に設定します。 	<p>—</p> <p>68</p>

お知らせアイコン が何度も表示される

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、 を押したときにアイコンが表示されます。 	<p>—</p> <p>同梱 29</p>

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)



確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ (https://www.toshiba.co.jp/regza/) でお知らせしています。 ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。 	<p>—</p>
機器が正しく接続されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。 	<p>—</p> <p>25</p>
機器の電源がはいっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスクの電源を入れます。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。 	<p>—</p>
機器が本機に登録されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスクを本機に登録します。 	<p>—</p> <p>26</p>
USBハブを使用している場合、本機で使 用できるようになっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ (https://www.toshiba.co.jp/regza/) でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。 	<p>—</p> <p>25</p>

症状に合わせて解決法を調べる つづき

録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 残量を確認する。 不要な番組を削除する。 「自動削除設定」を「削除する」に変更する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">36</div> / <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">37</div>
コピー禁止の番組ではありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 録画はできません。 	—
外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像などではありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機は左記の番組や映像の録画には対応していません。 	—
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ 「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">31</div>
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード(「第〇〇話」や出演者名など)を削除します。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">29</div>
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。 	同梱 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">29</div>

録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 または、消したくない番組を保護する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">37</div>
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。	<ul style="list-style-type: none"> 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 「録画番組を修復する」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。 	— <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">34</div>
録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> 録画リストの分類タブを《 ・ 》で「すべて」に変更する。 ※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">32</div>

ほかのレグザで再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
—	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。 	—

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。 	同梱 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">17</div>
推奨機器(対応機器)ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ https://www.toshiba.co.jp/regza/ でお知らせしています。 ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。 	—
本機と接続機器の設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。 本機の「その他の設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。 	—

それでも解決しない場合のご相談は「東芝テレビご相談センター」:0120-97-9674 (無料)、0570-05-5100 (携帯から、有料)

オーディオ機器(サウンドシステム)に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> • HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。 • ARC対応のオーディオ機器はHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。 • ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。 	同梱 16 18
接続機器側の設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> • オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。 	—
本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> • 「HDMI連動設定」の「サウンドシステム連動」を「使用する」に設定します。また、「HDMI連動設定」の「電源オン時優先スピーカー」を「外部スピーカー」に設定しておく、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 • サブメニューの「スピーカー切替」で「サウンドシステムスピーカー」に切り換えます。 	46 48

ネットワークが利用できない

確認すること	解決法・その他	ページ
プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。	<ul style="list-style-type: none"> • 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。 	—
接続や設定は正しいですか。	<ul style="list-style-type: none"> • 確認して、正しく接続・設定します。 	55 57
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> • ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。 	—
本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 	55

症状に合わせて解決法を調べる つづき

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
<p>アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(IPv4)」を確認します。 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する <ul style="list-style-type: none"> 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします <p>接続できたとき 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。</p> <p>接続できなかったとき ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。</p> インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する <ul style="list-style-type: none"> 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">リセットのしかた</th> <th style="text-align: center;">操作で対処したいとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。 	リセットのしかた	操作で対処したいとき	<ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 	<p>55</p> <p>同梱 36</p> <p>72</p>
リセットのしかた	操作で対処したいとき					
<ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 					

アドレス設定(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
<p>アドレス設定(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(IPv4)」を確認します。 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示される場合は、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。 <ul style="list-style-type: none"> ルーターを再起動する。 本機をリセットする <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">リセットのしかた</th> <th style="text-align: center;">操作で対処したいとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 本機のIPアドレスを確認する 	リセットのしかた	操作で対処したいとき	<ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 	<p>55</p> <p>同梱 36</p> <p>55</p>
リセットのしかた	操作で対処したいとき					
<ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 					

アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが取得できない

確認すること	解決法・その他	ページ				
アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが空欄ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(IPv6)」を確認します。 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します) ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器にIPv6アドレスが割り当てられているかを確認する <ul style="list-style-type: none"> 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします <p>接続できたとき 最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。</p> <p>接続できなかったとき ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。</p> <ol style="list-style-type: none"> インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する <ul style="list-style-type: none"> 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>リセットのしかた</th> <th>操作で対処したいとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。 	リセットのしかた	操作で対処したいとき	<ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 	<p>56</p> <p>同梱 36</p> <p>72</p>
リセットのしかた	操作で対処したいとき					
<ol style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントから抜く 1分以上待つ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる 	<ol style="list-style-type: none"> テレビ本体の電源ボタンを押し続ける 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 					

アドレス設定(IPv6)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

確認すること	解決法・その他	ページ
アドレス設定(IPv6)において、「自動取得」が選択されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(IPv6)」を確認します。 アドレス、デフォルトゲートウェイ、プレフィックス長、プライマリアドレスに何らかの値が設定されていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示される場合は、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。 	56

PPPoE設定ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
—	<ul style="list-style-type: none"> 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。 	57

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。 [サブメニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切替が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができません。	18
「放送が受信できません。 1. テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2. リモコンで見たい放送(【地デジ】【BS】【CS】)ボタンを押してください 3. リモコンの[]ボタンを押して、アンテナレベルを確認してください 詳細は取扱説明書をご確認ください。 コード：E202」	<ul style="list-style-type: none"> アンテナが放送に適合していない。 アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 アンテナの方向ずれや故障。 電波が弱くて視聴できない。 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します(販売店にご相談ください)。 BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。 	同梱 14 65
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	—
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	—
「ACASチップが認識できません。」	ACASチップが破損してる。	<ul style="list-style-type: none"> 東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。 	—

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	—
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。	—
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「再生できません。」	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。	—
	再生時にテレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。	—
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	テレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。	テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	「録画番組を修復する」の操作をしてみます。	34頁
「USB端子の電源容量を超えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	—

エラーメッセージが表示されたとき つづき

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	55頁 57頁
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	—
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	69頁
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	69頁
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません(本機の動作は正常です)。	—
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	認証エラーが発生した。		

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「8 K番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。	—	—

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

■それでも解決しない場合のご確認

下記ホームページをご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>

※上記アドレスおよびQRコードは予告なく変更される場合があります。

電話でのご相談は「東芝テレビご相談センター」:

【一般回線・PHSからのご利用は】

0120-97-9674 (通話料: 無料)

【携帯電話からのご利用は】

0570-05-5100 (通話料: 有料)



使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください(番組情報を取得するためです)。
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力、HDMI入力1~3)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感があることがあります。
 - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
 - 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 電源起動時にパネルの調整を行うため、映像が表示されるまでに時間がかかります。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。
- 1 **画面表示**を押して、録画中やダビング中の表示が出ないことを確認する
 - 2 **録画予約が設定されていないか確認する**
 - 「予約の確認・変更・取り消しをする」**[30]**の手順で、電源プラグを抜いている間に始まる予約がないか確認してください。電源プラグが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
 - 3 **本体の電源ボタンを押して電源を切る**
 - 4 **電源プラグをコンセントから抜く**

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器を録画・録音した内容の長期保存として使用しないでください。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。
- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
 - 録画した番組をメールやメッセージサービスなどで他人に送る。
 - 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。
 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。

4K映像の表示について

- 本機はBS・110度CSの4K放送に対応しています。
- HDMIの4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

使用上のお願いとご注意 つづき

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」**72**で、暗証番号や双方向サービスの情報(住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報)なども含めて、初期化してください。
- **廃棄時にご注意ください**
家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、故意過失ある場合を除き当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に接続した機器に正しく記録(録画、録音など)できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組み合わせによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて



注意

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。



お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

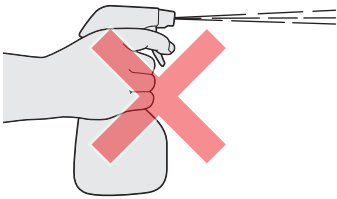
- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面(液晶パネル)が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。



画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押ししたりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。
- ※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

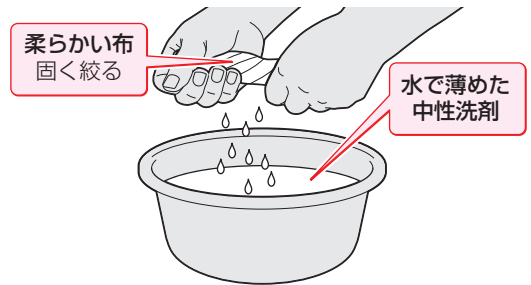
キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。
- ※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る 汚れが落ちにくいときは

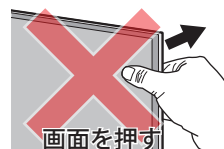
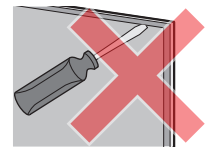
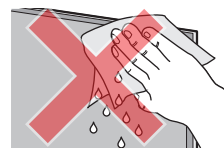
- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞る、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。



- ※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。
- ※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。
- ※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

3 お手入れのときや、お手入れなどで画面の向きを変える際に、画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れないように注意してください。

また、画面のみを押ししたり、引っ張ったりしないように注意してください。



さくいん

数字

1コンテンツリピート.....	36, 51
4Kズーム.....	79
4Kノーマル.....	79
4Kフル.....	79

アルファベット

A

ACASチップ情報を確認する.....	同梱 29
ALLM設定.....	43
ARC.....	同梱 16, 18

B

Basic Operations.....	同梱 37
BS・110度CSアンテナ設定.....	64

D

DNSアドレス.....	55, 56
Dolby Digital Plusの入力を設定する.....	43
Dot By Dot.....	79

H

HDMIモード.....	42
HDMI連動機能.....	44
HDMI連動機能について.....	44
HDMI連動設定.....	46
HDスーパーライブ.....	79
HDズーム.....	79

I

IPアドレス.....	55, 56
-------------	--------

R

RGBレンジ設定.....	43
---------------	----

U

USBハードディスクが使用できない.....	85
USBハードディスクの残量.....	36
USBハードディスクの設定をする.....	23
USBハードディスクの接続をする.....	同梱 25
USBハードディスクを本機に登録する.....	同梱 26

かな

あ

アイコン一覧.....	78
あざやか.....	58
頭出し再生.....	32, 47
アドレス設定(IPv4).....	55
アドレス設定(IPv6).....	56
暗証番号削除.....	70
暗証番号設定.....	70
アンテナを接続する.....	同梱 14
アンテナを調整する.....	64

い

イコライザー.....	61
色あい.....	59
色温度.....	60
色がおかしい.....	83
色の濃さ.....	59
インターネットに接続する.....	55

う

上書き録画.....	29
------------	----

え

映画.....	61
映画字幕.....	79
衛星アンテナ電源供給.....	65
映像、音声を切り換える.....	18
映像が出ない.....	82
映像信号切換.....	18
映像メニュー.....	58
映像を静止させる.....	19
エラーメッセージ.....	90

お

オーディオ機器で聴く.....	48
オーディオ用光デジタルケーブル.....	同梱 18
オートボリューム.....	62
オートメディアプレーヤー.....	49, 50, 52
お知らせアイコンが何度も表示される.....	85
お知らせを見る.....	同梱 29
追っかけ再生.....	32
お手入れについて.....	95
音を一時的に消す.....	7
オフタイマー.....	21
音が出ない.....	83
音声出力詳細設定.....	62
音声信号切換.....	18
音声メニュー.....	61
オンタイマー.....	21
音多切換.....	18
音量を調節する.....	7

か

外部機器を接続する.....	同梱 16
外部入力.....	41
外部入力スキップ設定.....	42
外部入力設定.....	42
外部入力の機能を設定する.....	42
外部入力表示設定.....	42
各部のなまえ.....	同梱 10
過去番組表・週間過去番組表.....	12
画面が暗い.....	83
画面サイズ切換.....	18
乾電池を入れる.....	同梱 20
ガンマ調整.....	59

き

機器の情報.....	36
------------	----

く

黒レベル.....	59
-----------	----

け

ゲイン調整.....	60
ゲーム.....	58

こ

降雨対応放送.....	18
コントラスト感調整.....	59
こんな場合は故障ではありません.....	同梱 35

さ

再スキャン.....	66
再生設定.....	24, 33, 35
再生タイムバー.....	34
再生中にできるリモコン操作.....	33
サウンドシステムスピーカー.....	48
サウンドシステム連動.....	46, 48
サブメニューについて.....	9
左右バランス.....	62
サラウンド.....	62

し	
システムスタンバイ	44
視聴制限一時解除	14
視聴予約	26
指定した日時の番組表を表示させる	12
自動削除設定	37
自動スキャン	66
字幕を表示させる	7
シャープネス	59
写真のフォーマット	81
写真を再生する	35
週間番組表	12
仕様	同梱 41
省エネ設定	19, 23
症状に合わせて解決法を調べる	82
消費電力	同梱 41
商標	同梱 39
初期スキャン	66
親切ヘッドホン音量	20
親切モード	20, 63
す	
スーパーライブ	79
ズーム	79
スピーカー切換	20, 48
スライドショー	52
せ	
精細感・ノイズ調整	59
接続ケーブルの種類と画質・音質の関係	同梱 17
設定の初期化	72
設定メニュー 一覧	73
節電モード	19
そ	
操作ガイドについて	8
操作無効設定	71
双方向サービス	17
ソフトウェアの自動ダウンロード	75
ソフトウェアのバージョン	76
ソフトウェアを更新する	75
た	
対応機器について	同梱 42
ダイナミック	61
ダイナミックNR	58
タイムサーチ	32, 51
ダビング	40
ち	
地域と郵便番号を設定する	69
地上デジタルアッテネーター設定	65
地上デジタルアンテナ設定	64
地上デジタルチャンネルを自動で設定する	66
地上デジタル放送が映らない	83
地デジ表示	14
チャプター	24, 29
チャンネルスキップ設定	68
チャンネル並び順	14
チャンネルをお好みに手動で設定する	67
つ	
追跡キーワード	29
追跡基準	29
通常モード	20, 63
通信設定	55

て	
低音強調	61
低遅延モード	60
データ放送終了	17
データ放送の設定をする	69
データ放送やラジオ放送を楽しむ	17
デジタル音声出力	62
デジタル音声出力タイミング	63
デジタル放送の種類と特徴	同梱 13
テレビが操作できなくなったとき	同梱 36
テレビスピーカー	48
テレビ/ラジオ/データ切換	14, 17
テレビ→連動機器電源オフ	46
テレビを設置する	同梱 12
テレビを操作する	6
電源オン時優先スピーカー	46
電源がはまらない	82
電源を入れる	同梱 21
転倒・落下防止のしかた	同梱 12
と	
動画を並べ替える	51
動画のフォーマット	81
動画を再生する	50
東芝サーバーから手動でダウンロードする	76
独立データ放送	17
ドルビー DRC	62
に	
日時を指定して予約をする	28
入力切換	41
入力文字一覧	77
入力文字種	77
ね	
ネイティブ	79
ネットワーク情報	56
年間消費電力量	同梱 41
の	
ノーマル	79
は	
はじめての設定	同梱 22
「はじめての設定」をやり直すとき	同梱 24
バックライト	60
早送り再生	33, 47, 51
早見早聞	33, 51
早戻し再生	33, 47, 51
番組概要表示	14
番組検索	28, 35
番組検索(番組を探す)	15
番組情報を見る	9
番組説明を見る	9
番組表	11
番組表-1チャンネル表示とマルチ表示	13
番組表-ジャンル色分け	13
番組表-週間番組表	12
番組表で予約をする	26
番組表-日時切換	12
番組表に内容が表示されない	85
番組表の文字が小さい	85
番組表-番組記号一覧	14
番組表-番組情報の取得	12
番組表-放送メディア切換	14
番組表-文字サイズ変更	13
番組表を更新する	12
番組表を便利に使う	12
番組を検索して録画・予約をする	28
番組を並べ替える	36

さくいん つぎ

ひ

光デジタルケーブル.....	同梱 18
ビデオ音声入力設定.....	43
表示チャンネル数.....	14
標準.....	58, 61

ふ

付属品を確認する.....	同梱 2
フル.....	79
フレーム間補正.....	60
プロキシサーバー.....	55

へ

ヘッドホン／音声出力設定.....	63
ヘッドホンで聴く.....	20

ほ

放送局からのお知らせ.....	同梱 29
放送時間(連動).....	29
放送視聴制限設定.....	70
ボード.....	同梱 29
ほかのグループに移動する.....	39
ほかのレグザで再生できない.....	86
保護.....	37
本機に関するお知らせ.....	同梱 29
本機の情報.....	76
本機の入出力対応信号.....	同梱 17
本機のリモコンで対応機器を操作する.....	47
本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき.....	94
本体操作ボタンと入出力端子.....	同梱 11
本体ボタンによる「機能切替」について.....	7

ま

マイフォルダ.....	29
マイフォルダの変更.....	39
マイフォルダ別.....	39
マイフォルダ名の変更.....	38
マルチ表示.....	13

め

免責事項について.....	94
---------------	----

も

文字切替.....	77
文字スーパーの言語を設定する.....	69
文字を入力する.....	77

よ

予約の確認.....	30
予約の動作について.....	31
予約の取り消し.....	30
予約の変更.....	30
予約・録画の優先順位について.....	31

ら

ライセンス.....	同梱 40
ラジオ放送.....	17

り

リピート.....	36, 51, 53
リモコン設定.....	71
リモコンで操作ができない.....	同梱 36
リモコンで番組を選ぶ.....	6
リモコン動作モード.....	46
リモコンの主な機能.....	5
リモコンの準備をする.....	同梱 19
リモコンの使用範囲について.....	同梱 20

る

ルート証明書番号.....	69
---------------	----

れ

レジューム再生.....	32
連続ドラマを予約する.....	27
連動機器→テレビ電源.....	46
連動機器→テレビ入力切替.....	46
連動データ放送.....	17
連ドラ.....	29
連ドラグループ名の変更.....	38
連ドラ予約.....	27, 36

ろ

録画ができない、または録画されなかった.....	86
録画先.....	29
録画時間.....	25
録画した番組が消えた.....	86
録画した番組を再生する.....	32
録画設定.....	24
録画できる機器と番組.....	22
録画できる時間の目安.....	同梱 42
録画番組の修復.....	34
録画番組を消す.....	37
録画番組を保護する.....	37
録画品質.....	29
録画予約.....	26
録画・予約機能について.....	22
録画・録音について.....	93
録画を中止するとき.....	25

わ

ワンタッチスキップ.....	33, 51
ワンタッチスキップ設定.....	33
ワンタッチプレイ.....	44
ワンタッチリプレイ.....	33, 51
ワンタッチリプレイ設定.....	33

保証とアフターサービス

必ずお読みください

① 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。



② 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ 形名 製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料：無料)

0120-97-9674

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048 (通話料：有料)

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料：有料)

0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通話料：有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」(上記)にご相談ください。

保証期間(ご購入後一年間)を過ぎた故障で、販売店の延長保証に加入されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。

- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
- 訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて他のテレビに交換をお願いする場合がありますので、ご了承ください。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼される時は～出張修理

- 「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

■ 保証期間中は
修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているとき
修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■ 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ ご連絡いただきたい内容
品名 4K液晶テレビ

品名	4K液晶テレビ
形名	43A250K、50A250K、55A250K
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくとう便利です。 TEL() —

① 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。



② 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

メモ 形名 製造番号

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料:無料)

0120-97-9674

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048 (通話料:有料)

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料:有料)

0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通話料:有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

廃棄時にご注意願います

- 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながったりすることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか？

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

東芝映像ソリューション株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

TVO

©TOSHIBA VISUAL SOLUTIONS CORPORATION 2021